

# 設置の趣旨等を記載した書類（資料）

## 目次

|          |                            |    |
|----------|----------------------------|----|
| 【資料 1】   | 養成する人材像・3つのポリシーの関係         | 2  |
| 【資料 2】   | 履修系統図                      | 3  |
| 【資料 2-1】 | 学修成長プロセスと3つのポリシーの関係        | 5  |
| 【資料 3】   | 履修モデル                      | 10 |
| 【資料 4】   | 実習施設一覧                     | 16 |
| 【資料 5】   | 実習施設の承諾書（略）                | 18 |
| 【資料 6】   | 通学課程と通信教育課程の比較             | 66 |
| 【資料 7】   | 学校法人早稲田医療学園 就業規則 抜粋        | 68 |
| 【資料 8】   | 人間総合科学大学 教員任期規程運用細則        | 69 |
| 【資料 9】   | 学校法人早稲田医療学園 定年退職者の採用に関する規程 | 71 |
| 【資料 10】  | 時間割                        | 72 |
| 【資料 11】  | 学術雑誌等のタイトル                 | 74 |
| 【資料 12】  | 学術雑誌等の新規購入タイトル             | 79 |
| 【資料 13】  | 人間総合科学大学 教学組織規程            | 80 |
| 【資料 14】  | 人間総合科学大学 代議員会規程            | 83 |
| 【資料 15】  | 人間総合科学大学 人間科学部 教務委員会規程     | 84 |
| 【資料 16】  | 人間総合科学大学 内部質保証の方針          | 86 |
| 【資料 17】  | 人間総合科学大学 ホームページ            | 88 |
| 【資料 18】  | 大学院学生便覧抜粋評価基準              | 89 |

養成する人材像・3つのポリシーの関係

【資料1】

ア. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

| 内容  |  | 説明  | 修得する能力                       |
|-----|--|---|------------------------------|
| DP1 | 心身健康科学を基盤とし、「こころ」「からだ」「文化・社会」の視点から人間や社会を学際的に思考し、それらを統合する力を備えていること。                             | DP1では、心身健康科学を基盤とし、この「知識・技能」を活用して人間や社会を学際的に思考し、それらを統合する力を備えていることを求める。この力は、多角的な視点からウェルビーイングに関連する社会課題に取り組み、社会のニーズを踏まえた「課題発見・目標設定力（Plan）」の礎であり、持続可能な社会の実現に向けた実践的なアプローチを支える。   | 知識・技能<br>統合力                 |
| DP2 | 個人および社会のウェルビーイング実現を目指し、困難に直面しても探究心を持ち前向きに行動し、継続して社会づくりに貢献する力を備えていること。                          | DP2では、心身健康科学の理解を基に、柔軟でクリエイティブな思考力・共感力をもって個人および社会のウェルビーイング実現に向けてねばり強く行動できる「思考力・判断力・表現力（リテラシー）」を有することを求める。「課題発見・目標設定力（Plan）」「行動力（Do）」「分析・評価力（Check）」「改善・実効力（Action）」を継続して回し、社会づくりに貢献する力となる。   | 思考力<br>判断力<br>共感力            |
| DP3 | 他者と協働し、自立の姿勢と共生の心と感謝の念を持ちながら課題に取り組み、豊かな人間性とコミュニケーション力を活かして社会課題を解決する力を備えていること。                  | DP3では、心身の健康や幸福に関わる社会の諸現象について主体的・協働的に理解を深め、ディスカッションを通じて、人間性豊かに新しいアイデアや発想を生み出す「主体性・多様性・協働性（コンピテンシー）」、「課題発見・目標設定力（Plan）」、実践・実行する「行動力（Do）」を備えていることを求める。   | 主体性<br>協働性<br>課題解決力          |
| DP4 | 未来社会で求められる知識とスキルを修得し、デジタル技術を含む科学やテクノロジー、社会の動向に関心を持ちながら、社会的課題を見極めて解決に取り組む次世代のリーダーとしての力を備えていること。 | DP4では、確かな「知識・技能」を通して、これを「思考力・判断力・表現力（リテラシー）」に変換する力、心身の状態やウェルビーイングを科学的に評価する「分析・評価力（Check）」に基づいて、さらなる改善と行動計画を立て次の段階に推進させる「改善・実効力（Action）」を備えていることを求める。実社会のニーズ即した社会的課題を見極め（「課題発見・目標設定力（Plan）」）、実現に向けて周囲の協力を引き出して実践・実行に移し「行動力（Do）」、成果を創出するリーダーシップを発揮する。 | (リーダー的)<br>推進力<br>実効力<br>実践力 |

イ. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

| 内容  |  | 説明 ※DPとの関連も示す  | 対応する学力の3要素                          |
|-----|--|--|-------------------------------------|
| CP1 | 人間を「こころ」「からだ」「文化・社会」の側面から多角的に理解し、個人および社会のウェルビーイングの実現に貢献するための基盤となる学識および学際的な視点や思考力（よりよく生きるための知恵：Knowledge for well-being）を修得するために、『コア科目』として、心身健康科学および人間総合科学を学ぶ科目群を配置する。  | CP1は、本学科でのディプロマ・ポリシーを達成するために必要な基礎となる「知識・技能」を養う教育課程である。特に「DP1」に向かう人間の多角的・学際的理解と統合的な視点を学ぶ。CP2とともに人間の健康や幸福を総合的に理解し、かつ社会のニーズを踏まえた「課題発見・目標設定力（Plan）」を育む基盤となる。   | 知識・技能                               |
| CP2 | 「こころ」「からだ」「文化・社会」の広範な領域から専門的知識を修得し、人間や社会についての学際的理解を深化するための科目群を配置するとともに、現代・未来社会において社会の動向に関心を持ち学び続ける意欲を育み、心身ともに豊かで健康な社会を築くための視座やスキルを修得するための『分野別科目』を、学生の背景や学修環境を考慮して配置する。 | CP2は、「DP1・DP2」に関連した教育課程である。「こころ」「からだ」「文化・社会」の広範な領域から人間の健康や幸福、文化・社会との相互作用について学ぶ「知識・技能」を活用して、そこから得られる統合的な思考や学際的理解の深化を進め、「思考力・判断力・表現力（リテラシー）」として変換していく教育課程である。  | 知識・技能<br>思考力・判断力・表現力                |
| CP3 | 「こころ」「からだ」「文化・社会」の学際的知識を統合し、社会生活に存在する多様な課題に対して科学的にアプローチし、必要な情報を的確に収集し取捨選択できる「情報収集力」や未知の知識を学ぶ「探究力」、科学的知識を応用して問題解決を図る力を修得するための科目群『基本科目』および『総合演習』を配置する。                   | CP3は、「DP2・DP3」の実現を目指した教育課程である。「知識・技能」のうち特に専門的な「技能」を修得するとともに、それを用いて「思考力・判断力・表現力（リテラシー）」を養い、「主体性・多様性・協働性（コンピテンシー）」を育む教育課程である。AIやデジタルツールを駆使し、心身健康科学の理念に基づいてウェルビーイング社会の実現に貢献できる知識と実践力を備え、未来の社会で中心的な役割を担う力として、「課題発見・目標設定力（Plan）」「行動力（Do）」「分析・評価力（Check）」「改善・実効力（Action）」、さらにこのPDCAサイクルを主体的に回す力を育む課程である。 | 知識・技能<br>思考力・判断力・表現力<br>主体性・多様性・協働性 |
| CP4 | 次世代のリーダーとして必要な力を涵養するため、対面でのアクティブ・ラーニング、グループワーク、実践的演習・実習科目等を通じて、課題発見から計画立案、実行、検証、改善に至るまでのプロセスを体験的に学ぶ学修機会を体系的に提供する。  | CP4は、「DP3・DP4」を実現するための教育課程として「思考力・判断力・表現力（リテラシー）」「主体性・多様性・協働性（コンピテンシー）」の学力の3要素を育む。本学科が目指すウェルビーイング社会の実現には、座学に限らない演習や実習を含めた多くの体験を通しての学びやスキルの修得が必須であり、この協働的で実践的な学びは「DP3・DP4」の実現を効果的に担う。   | 思考力・判断力・表現力<br>主体性・多様性・協働性          |

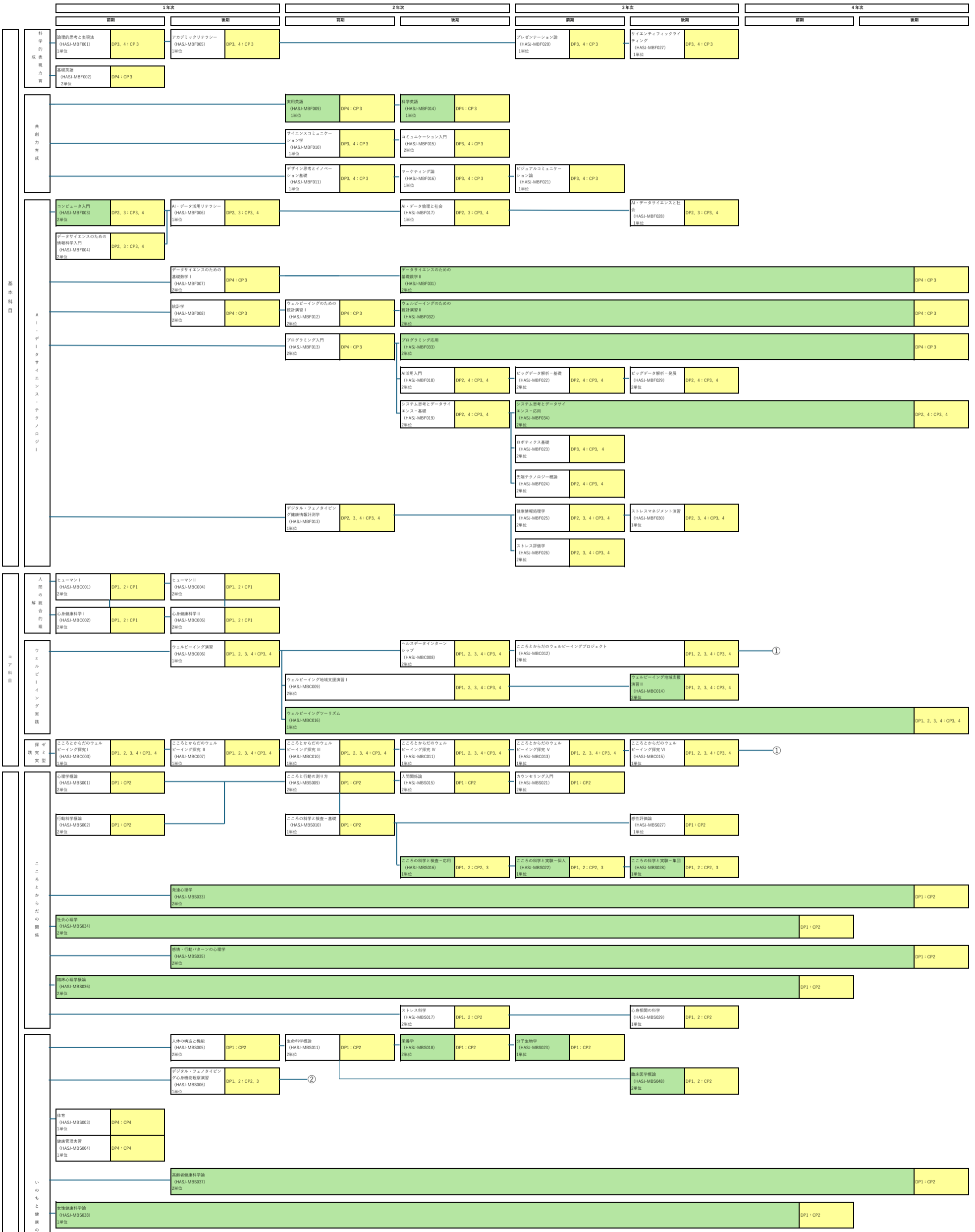
ウ. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

| 内容  |   | 説明 ※DPとの関連も示す  | 対応する学力の3要素                 |
|-----|---|--|----------------------------|
| AP1 | 人間の「こころ」「からだ」「文化・社会」の学びに関心があり、その社会応用に必要な科学技術の修得に興味のある人。                                       | 人間自身の「こころ」「からだ」と人を取り巻く「文化・社会」への幅広い関心は、統合的な人間の本質の理解に必要である。また、個人から社会に至るまでのウェルビーイング実現のためにも、実際に活用されているAI・データサイエンスを利用したウェルビーイング・テクノロジーやその背景にある科学的な機序を知る必要がある。そのため、AP1では、「DP1・DP4」が求める、人間の本質理解への関心が根底あり、現代社会に反映されるテクノロジーに興味を持ち、社会応用を実現するための科学技術の修得に興味を持つ「知識・技能」の獲得に向けた意思のある学生を受け入れる。 | 知識・技能                      |
| AP2 | 人間の理解とウェルビーイング(心身の健康と幸福)に関心があり、心身ともに健康で豊かな人生と幸せな社会づくりを追求するために必要な教養（リベラル・アーツ）を修得する意欲を持つ人。      | AP2では、「DP1・DP2」が求める人間理解とウェルビーイングに関心を持ち、AI・データサイエンスとテクノロジーを正しく活かすために、知識のみではない知恵としての教養（リベラル・アーツ）の素養を有することを求める。これらの感覚を共有でき、ウェルビーイングの追求にむけて貢献する意欲を持つ「思考力・判断力・表現力（リテラシー）」「主体性・多様性・協働性（コンピテンシー）」を育むことのできる学生を受け入れる。   | 思考力・判断力・表現力<br>主体性・多様性・協働性 |
| AP3 | 社会の動向や科学と技術の進展に関心を持ち、生涯にわたって学び続ける意欲を持つ人。  | AP3では、「DP2・DP4」が求める心身健康科学、AI・データサイエンスを学び続け、新たな視座と創造性の獲得を継続する意欲を持ち、ウェルビーイング・テクノロジーとして心身健康科学を社会応用させていくため、現実を見つめ、持続的に粘り強く作り上げていく必要がある。そのために、「知識・技能」を粘り強く学び「思考力・判断力・表現力（リテラシー）」として発揮する素養のある学生を受け入れる。   | 知識・技能<br>思考力・判断力・表現力       |
| AP4 | 自立の精神と自己理解を大切に、学友や教員とキャンパスで直接交流しながら協働的かつ主体的に課題に取り組む意欲を持ち、AIやデータサイエンスなどのテクノロジー分野への興味や学修意欲を持つ人。 | AP4では、「DP3・DP4」が求める自分の価値や強みを理解し、これらを活かして主体的に課題解決に取り組む意欲と能力を身につけることや、本学科で学び得る「知識・技能」から、実社会に即したアイデアを実際に形にして実行するための「主体性・多様性・協働性（コンピテンシー）」を持った学生を受け入れる。  | 主体性・多様性・協働性                |

人間科学部 心身健康科学科 (通学課程) 履修系統図

必須科目 選択科目

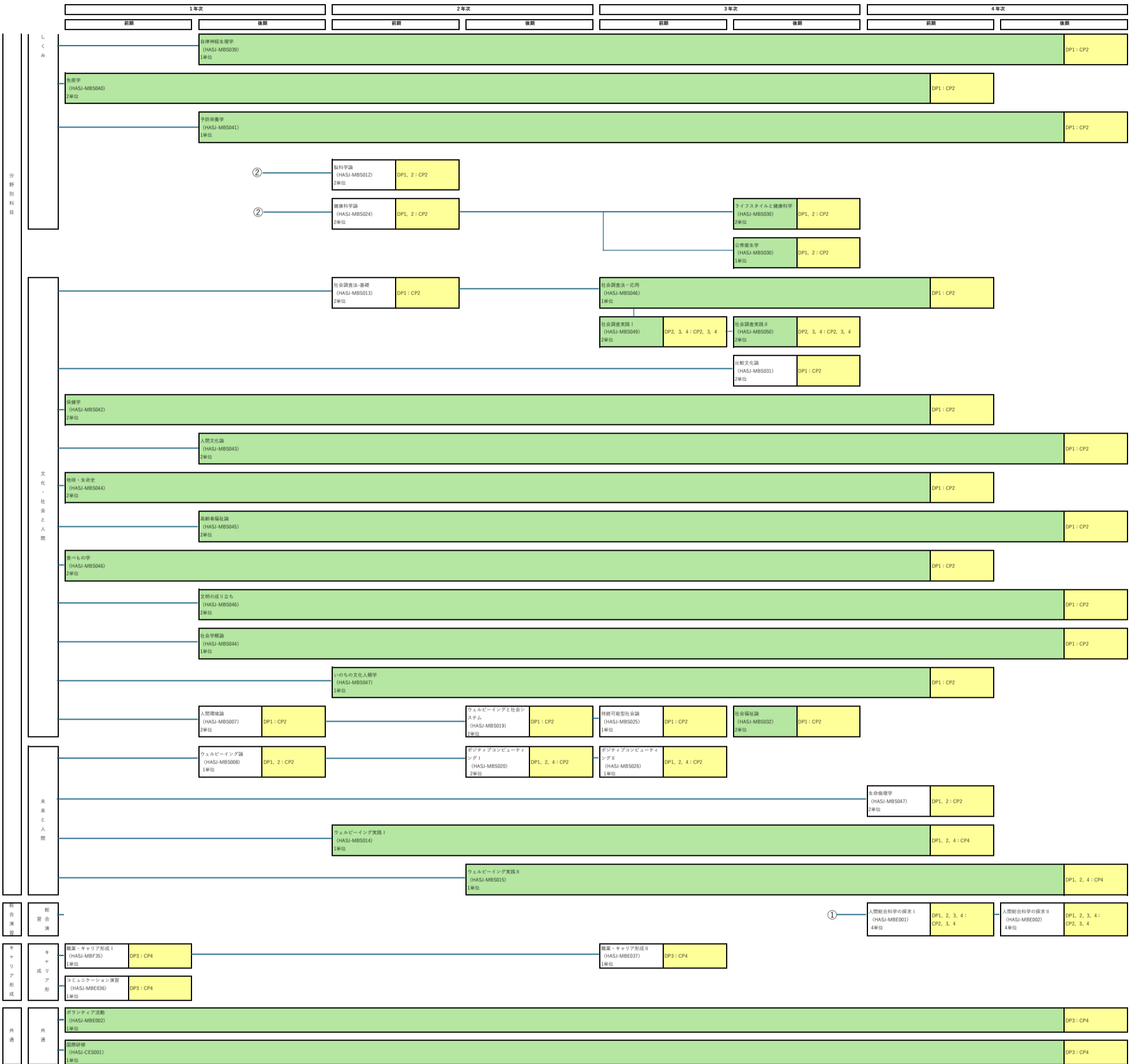
人間科学部 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針)
人間科学部では、建学の精神・教育理念に基づき、科学的能力と実践的能力を統合し、以下のような能力と資質を身につけ、所定の単位を得た学生に対して、卒業を認定し、学位を授与する。
1. 自然科学の科目を履修しリテラシーを育成
・ 現代社会「よりよくなる」ための、洞察力、共感性、創造力、表現力、自己啓発力、生涯学習しようとする意欲、豊かな人間性
・ 社会から「良い」と他者と「良い」と必要に社会的責任感、異文化理解、情報活用能力、自己実現力、他者への思いやり、コミュニケーション力などの資質
2. 専攻する学部・学科の専門科目を通じた医療・健康・食・栄養の専門職教育
・ 専門性としての、専門的な知識、技能を体系的に修得
・ 社会実務に必要な、問題解決能力、チームワーク力、リーダーシップ能力、プレゼンテーション能力、AI・データサイエンス (リテラシーレベル) の基礎力
人間科学部では、次の方針に基づいて教育課程を編成する。
1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る
2. 人間に係る科学的知識を統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に活用できる能力を得る
3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題の中心関連付けて問題解決を図る能力を得る
4. 多様な学習経験・方法をを通じて、専門知識を人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う
5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る



人間科学部 心身健康科学科 (通学課程) 履修系統図

|      |      |
|------|------|
| 必修科目 | 選択科目 |
|------|------|

|   |   |   |
|---|---|---|
| <p><b>人間科学大学 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針)</b><br/>人間科学大学は、建学の精神・教育理念に基づき、科学的能力と実践的能力を統合し、以下のような能力と資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学位を授与する。</p> <p>1. 全学共通のコア科目を通じたリベラル・アーツ教育<br/>・健全な社会を「よりよく生きる」ための、洞察力、共感性、創造力、表現力、自己教育力、生涯学習しようとする意欲、豊かな人間性<br/>・社会からの「自立」と他者との「共生」に必要な社会的責任感、異文化理解、情報活用能力、自己実現力、他者への思いやり、コミュニケーション力などの資質</p> <p>2. 専攻する学部・学科の専門科目を通じた応用・健康・食・栄養の専門職教育<br/>・専門職としての、専門的な知識・技能を体系的に修得<br/>・社会実務に必要な、問題解決能力、チームワーク力、リーダーシップ能力、プレゼンテーション能力、AI・データサイエンス (リテラシーレベル) の基礎力</p> | <p><b>人間科学部 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針)</b><br/>人間科学部では、人間の総合的な理解を基に、人々の健康に関する多様な職能について、自立と共生の精神をもって自身のキャリアを形成できる能力を身につけたものに学位を授与する。</p> <p>各学科のディプロマ・ポリシーで具体的に示されている、①知識・技能、②汎用的技能、③態度・志向性、④総合的な学習経験と創造的学習力を身につけたものに学位を授与する。</p>   | <p><b>心身健康科学科 (通学課程) ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針)</b><br/>心身健康科学科では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与する。</p> <p>1. 心身健康科学を基礎とし、「心身」「からだ」「文化・社会」の視点から人間や社会を学際的に思考し、それらを統合する力を備えていること。<br/>2. 個人および社会のウェルビーイング実現を目指し、困難に直面しても探究心をもち前向きに行動し、働き続けようとする力を備えていること。<br/>3. 他者と協働し、自立の姿勢と共生の心と感謝の念を持ちながら課題に取り組み、豊かな人間性とコミュニケーション力を活かして社会課題を解決する力を備えていること。<br/>4. 未来社会で求められる知識とスキルを習得し、デジタル技術を含む科学やテクノロジー、社会の動向に関心をもちながら、社会的課題を見極め解決に取り組み次世代のリーダーとしての力を備えていること。</p>  |
| <p><b>人間科学大学 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針)</b><br/>人間科学大学は、次の方針に基づいて教育課程を編成する。</p> <p>1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る<br/>2. 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る<br/>3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る<br/>4. 多様な学習経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う<br/>5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る</p>  | <p><b>人間科学部 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針)</b><br/>人間科学部では、次の方針に基づいて教育課程を編成する。</p> <p>1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る<br/>2. 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る<br/>3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る<br/>4. 多様な学習経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う<br/>5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る</p> | <p><b>心身健康科学科 (通学課程) カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針)</b><br/>心身健康科学科では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下の方針の基、教育課程を編成する。</p> <p>1. 人間を「心身」「からだ」「文化・社会」の側面から多角的に理解し、個人および社会のウェルビーイングの実現に貢献するための基礎となる学識および学際的な視点や思考力 (よりよく生きるための知識: Knowledge for well-being) を修得するために、「コア科目」として、心身健康科学および人間科学を学ぶ科目を配置する。<br/>2. 「心身」「からだ」「文化・社会」の広範な領域から専門的知識を修得し、人間や社会についての学際的理解を深化するための科目群を配置するとともに、現代・未来社会において社会の動向に関心をもち学び続ける意欲を育み、心身ともに豊かで健康な社会を築くための態度やスキルを修得するための「分野科目」を、学生の背景や学習環境を考慮して配置する。<br/>3. 「心身」「からだ」「文化・社会」の学際的知識を統合し、社会生活に存在する多様な課題に対して科学的にアプローチし、必要な情報を的確に収集し取捨選択できる「情報収集力」や未知の知識を学ぶ「探求力」、科学的知識を応用して問題解決を図るための科目群『基本科目』および『総合演習』を配置する。<br/>4. 次世代のリーダーとして必要能力を涵養するため、対面でのアクティブラーニングやグループワーク、実践的演習・実習科目等を通じて、課題発見から計画立案、実行、検証、改善に至るまでのプロセスを体系的に学ぶ学習機会を体系的に提供する。</p> |



# 学修成長プロセスと3つのポリシーの関係

養成する  
人材像

「こころ」「からだ」「文化・社会」の側面から、人間を科学的、学際的に理解し、デジタル技術を活用して心身ともに健康で豊かに暮らせる社会の構築を支援できる人材

DP  
本学科で  
得られる  
もの

学際的理解

DP1

ウェルビーイング実践  
社会貢献・行動力

DP2

協働・自立・共生力

DP3

テクノロジーの活用  
次世代のリーダー力

DP4

CP  
本学科の  
学び

人間の多角的理解

CP1

学際的思考力と  
社会応用

CP2

探究力・情報活用力・  
課題解決力

CP3

社会へつなげる実践

CP4

AP  
入学時の  
ちから

こころ・からだ・  
社会への関心

AP1

ウェルビーイングへ  
の関心

AP2

生涯学習への意欲  
社会変化への関心

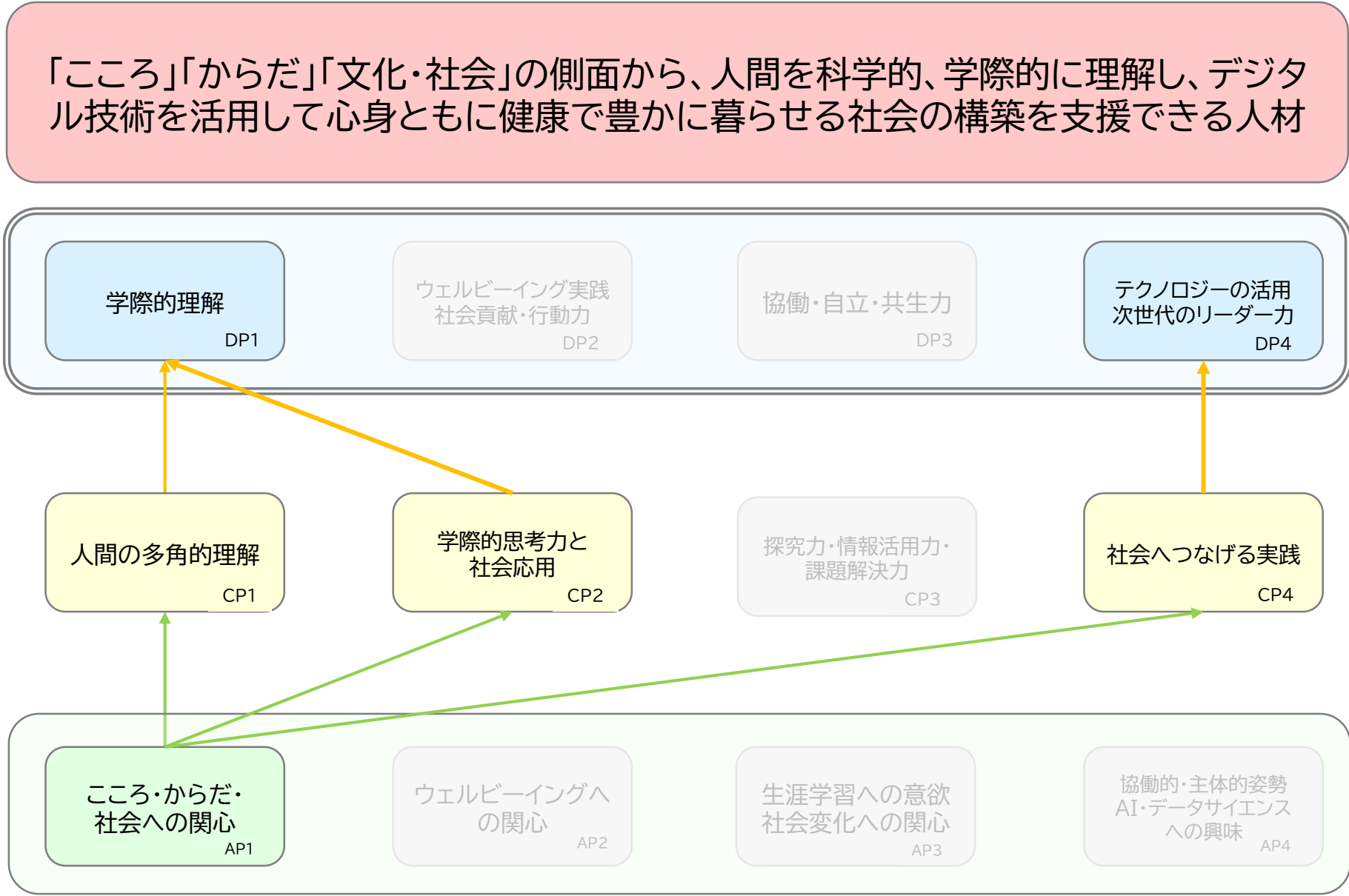
AP3

協働的・主体的姿勢  
AI・データサイエンス  
への興味

AP4

# 学修成長プロセスと3つのポリシーの関係

- 養成する人材像
- DP  
本学科で得られるもの
- CP  
本学科の学び
- AP  
入学時のちから



# 学修成長プロセスと3つのポリシーの関係

養成する  
人材像

「こころ」「からだ」「文化・社会」の側面から、人間を科学的、学際的に理解し、デジタル技術を活用して心身ともに健康で豊かに暮らせる社会の構築を支援できる人材

DP

本学科で  
得られる  
もの

学際的理解

DP1

ウェルビーイング実践  
社会貢献・行動力

DP2

協働・自立・共生力

DP3

テクノロジーの活用  
次世代のリーダー力

DP4

CP

本学科の  
学び

人間の多角的理解

CP1

学際的思考力と  
社会応用

CP2

探究力・情報活用力・  
課題解決力

CP3

社会へつなげる実践

CP4

AP

入学時の  
ちから

こころ・からだ・  
社会への関心

AP1

ウェルビーイングへの  
関心

AP2

生涯学習への意欲  
社会変化への関心

AP3

協働的・主体的姿勢  
AI・データサイエンス  
への興味

AP4

# 学修成長プロセスと3つのポリシーの関係

養成する  
人材像

「こころ」「からだ」「文化・社会」の側面から、人間を科学的、学際的に理解し、デジタル技術を活用して心身ともに健康で豊かに暮らせる社会の構築を支援できる人材

DP  
本学科で  
得られる  
もの

学際的理解

DP1

ウェルビーイング実践  
社会貢献・行動力

DP2

協働・自立・共生力

DP3

テクノロジーの活用  
次世代のリーダー力

DP4

CP  
本学科の  
学び

人間の多角的理解

CP1

学際的思考力と  
社会応用

CP2

探究力・情報活用力・  
課題解決力

CP3

社会へつなげる実践

CP4

AP  
入学時の  
ちから

こころ・からだ・  
社会への関心

AP1

ウェルビーイングへ  
の関心

AP2

生涯学習への意欲  
社会変化への関心

AP3

協働的・主体的姿勢  
AI・データサイエンス  
への興味

AP4

# 学修成長プロセスと3つのポリシーの関係

養成する  
人材像

「こころ」「からだ」「文化・社会」の側面から、人間を科学的、学際的に理解し、デジタル技術を活用して心身ともに健康で豊かに暮らせる社会の構築を支援できる人材

DP  
本学科で  
得られる  
もの

学際的理解

DP1

ウェルビーイング実践  
社会貢献・行動力

DP2

協働・自立・共生力

DP3

テクノロジーの活用  
次世代のリーダー力

DP4

CP  
本学科の  
学び

人間の多角的理解

CP1

学際的思考力と  
社会応用

CP2

探究力・情報活用力・  
課題解決力

CP3

社会へつなげる実践

CP4

AP  
入学時の  
ちから

こころ・からだ・  
社会への関心

AP1

ウェルビーイングへ  
の関心

AP2

生涯学習への意欲  
社会変化への関心

AP3

協働的・主体的姿勢  
AI・データサイエンス  
への興味

AP4

# ①医療・ヘルスケア分野、スポーツ・フィットネス産業

【資料3】

ービッグデータの活用で健康と社会課題に対応する力を修得する履修モデルー

⇒取得できる資格：

ITパスポート、DX検定、統計検定、社会調査士、健康管理士

●は必修科目、○は選択科目

| 科目区分               | 卒業要件     | 1年次                       |    | 2年次                   |                  | 3年次                    |                  | 4年次                 |    |
|--------------------|----------|---------------------------|----|-----------------------|------------------|------------------------|------------------|---------------------|----|
|                    |          | 授業科目名                     | 単位 | 授業科目名                 | 単位               | 授業科目名                  | 単位               | 授業科目名               | 単位 |
| 基本科目               | 科学的表現    | ●基礎英語                     | 2  |                       |                  | ●プレゼンテーション論            | 1                |                     |    |
|                    | 共創力育成領域  | ●論理的思考と表現法                | 1  |                       |                  | ●サイエンティフィックライティング      | 1                |                     |    |
|                    |          | ●アカデミックリテラシー              | 1  |                       |                  |                        |                  |                     |    |
|                    |          | 必修科目43単位                  |    |                       | ●サイエンスコミュニケーション学 | 1                      | ●ビジュアルコミュニケーション論 | 1                   |    |
| AI・データサイエンス・テクノロジー | 必修科目43単位 | ●データサイエンスのための情報科学入門       | 2  | ●AI・データ倫理と社会          | 1                | ●AI・データサイエンスと社会        | 1                | ○システム思考とデータサイエンス-応用 | 2  |
|                    |          | ●AI・データ活用リテラシー            | 1  | ●ウェルビーイングのための統計演習I    | 2                | ●ビッグデータ解析-基礎           | 2                | ○プログラミング応用          | 2  |
|                    |          | ●データサイエンスのための基礎数学I(解析・幾何) | 2  | ●プログラミング入門            | 2                | ●ビッグデータ解析-発展           | 2                |                     |    |
|                    |          | ●統計学                      | 2  | ●AI活用入門               | 2                | ●ロボティクス基礎              | 2                |                     |    |
| コア科目               | 必修科目21単位 | ●ヒューマンI                   | 2  |                       |                  |                        |                  |                     |    |
|                    |          | ●ヒューマンII                  | 2  |                       |                  |                        |                  |                     |    |
|                    |          | ●心身健康科学I                  | 2  |                       |                  |                        |                  |                     |    |
|                    |          | ●心身健康科学II                 | 2  |                       |                  |                        |                  |                     |    |
| 分野別科目              | 必修科目9単位  | ●ウェルビーイング演習               | 1  | ●ウェルビーイング地域支援演習I      | 2                | ●こことからだのウェルビーイングプロジェクト | 2                |                     |    |
|                    |          |                           |    | ●ヘルスデータインターンシップ       | 2                | ○ウェルビーイング地域支援演習II      | 2                |                     |    |
|                    |          | ●こことからだのウェルビーイング探究I       | 1  | ●こことからだのウェルビーイング探究III | 1                | ●こことからだのウェルビーイング探究V    | 1                |                     |    |
|                    |          | ●こことからだのウェルビーイング探究II      | 1  | ●こことからだのウェルビーイング探究IV  | 1                | ●こことからだのウェルビーイング探究VI   | 1                |                     |    |
| 演習合                | 必修科目8単位  | ●心理学概論                    | 2  | ●ここと行動の測り方            | 2                | ●感性評価論                 | 1                |                     |    |
|                    |          | ●行動科学概論                   | 2  | ●人間関係論                | 2                | ●心身相関の科学               | 1                |                     |    |
|                    |          |                           |    | ●こころの科学と検査-基礎         | 1                |                        |                  |                     |    |
|                    |          |                           |    | ●ストレス科学               | 2                |                        |                  |                     |    |
| 演習合                | 必修科目9単位  | ●人間の構造と機能                 | 2  | ●生命科学概論               | 2                | ○公衆衛生学                 | 1                |                     |    |
|                    |          | ●デジタル・フェノタイプ心身機能観察基礎演習    | 1  | ●脳科学論                 | 2                | ○臨床医学概論                | 2                |                     |    |
|                    |          | ○体育                       | 1  | ●健康科学論                | 2                |                        |                  |                     |    |
|                    |          | ●人間環境論                    | 2  | ●社会調査法-基礎             | 2                | ●持続可能型社会論              | 1                |                     |    |
| 演習合                | 必修科目9単位  |                           |    | ●ウェルビーイングと社会システム      | 2                | ●比較文化論                 | 2                |                     |    |
|                    |          |                           |    |                       |                  | ○社会調査法-応用              | 1                |                     |    |
|                    |          |                           |    |                       |                  | ○社会調査実践I               | 2                |                     |    |
|                    |          |                           |    |                       |                  | ○社会調査実践II              | 2                |                     |    |
| 演習合                | 必修科目6単位  | ●ウェルビーイング論                | 1  | ●ポジティブコンピューティングI      | 2                | ●ポジティブコンピューティングII      | 1                | ●生命倫理学              | 2  |
|                    |          |                           |    |                       |                  |                        |                  |                     |    |
| 演習合                | 必修科目3単位  | ●職業・キャリア形成I               | 1  |                       |                  | ●職業・キャリア形成II           | 1                |                     |    |
|                    |          | ●コミュニケーション演習              | 1  |                       |                  |                        |                  |                     |    |
| 合計(124単位以上)        |          | 必修科目(112単位)               | 34 |                       | 40               |                        | 28               |                     | 10 |
|                    |          | 選択科目(12単位以上)              | 1  |                       | 5                |                        | 10               |                     | 4  |
| 履修合計132単位          |          |                           |    |                       |                  |                        |                  |                     |    |

## ②心理・メンタルヘルス分野

ーメンタルヘルスと心理学的観点からの支援力を修得する履修モデルー

⇒取得できる資格：※認定心理士、心身健康アドバイザー

※認定心理士は、本モデルの履修に加え、副専攻に含まれる認定心理士関連科目の履修が別途必要

●は必修科目、○は選択科目

| 科目区分                 | 卒業要件     | 1年次                       |    | 2年次                   |                  | 3年次                    |                  | 4年次       |    |
|----------------------|----------|---------------------------|----|-----------------------|------------------|------------------------|------------------|-----------|----|
|                      |          | 授業科目名                     | 単位 | 授業科目名                 | 単位               | 授業科目名                  | 単位               | 授業科目名     | 単位 |
| 基本科目                 | 科学的表現    | ●基礎英語                     | 2  |                       |                  | ●プレゼンテーション論            | 1                |           |    |
|                      | 共創力育成領域  | ●論理的思考と表現法                | 1  |                       |                  | ●サイエンティフィックライティング      | 1                |           |    |
|                      |          | ●アカデミックリテラシー              | 1  |                       |                  |                        |                  |           |    |
|                      |          | 必修科目43単位                  |    |                       | ●サイエンスコミュニケーション学 | 1                      | ●ビジュアルコミュニケーション論 | 1         |    |
| AI・データサイエンス・テクノロジー領域 | 必修科目43単位 | ●データサイエンスのための情報科学入門       | 2  | ●AI・データ倫理と社会          | 1                | ●AI・データサイエンスと社会        | 1                |           |    |
|                      |          | ●AI・データ活用リテラシー            | 1  | ●ウェルビーイングのための統計演習I    | 2                | ●ビッグデータ解析-基礎           | 2                |           |    |
|                      |          | ●データサイエンスのための基礎数学I(解析・幾何) | 2  | ●プログラミング入門            | 2                | ●ビッグデータ解析-発展           | 2                |           |    |
|                      |          | ●統計学                      | 2  | ●AI活用入門               | 2                | ●ロボティクス基礎              | 2                |           |    |
| コア科目                 | 必修科目21単位 | ●ヒューマンI                   | 2  |                       |                  |                        |                  |           |    |
|                      |          | ●ヒューマンII                  | 2  |                       |                  |                        |                  |           |    |
|                      |          | ●心身健康科学I                  | 2  |                       |                  |                        |                  |           |    |
|                      |          | ●心身健康科学II                 | 2  |                       |                  |                        |                  |           |    |
| 分野別科目                | 必修科目13単位 | ●ウェルビーイング演習               | 1  | ●ウェルビーイング地域支援演習I      | 2                | ●こことからだのウェルビーイングプロジェクト | 2                |           |    |
|                      |          | ●こことからだのウェルビーイング探究I       | 1  | ●こことからだのウェルビーイング探究III | 1                | ●こことからだのウェルビーイング探究V    | 1                |           |    |
|                      |          | ●こことからだのウェルビーイング探究II      | 1  | ●こことからだのウェルビーイング探究IV  | 1                | ●こことからだのウェルビーイング探究VI   | 1                |           |    |
| しくみと健康の              | 必修科目9単位  | ●心理学概論                    | 2  | ●ここと行動の測り方            | 2                | ●感性評価論                 | 1                |           |    |
|                      |          | ●行動科学概論                   | 2  | ●人間関係論                | 2                | ●心身相関の科学               | 1                |           |    |
|                      |          | ○感情・行動パターンの心理学            | 2  | ●こころの科学と検査-基礎         | 1                | ○こころの科学と実験-個人          | 1                |           |    |
|                      |          | ○発達心理学                    | 2  | ●ストレス科学               | 2                | ○こころの科学と実験-集団          | 1                |           |    |
| 文化・人間                | 必修科目9単位  |                           |    | ○こころの科学と検査-応用         | 1                | ○カウンセリング入門             | 2                |           |    |
|                      |          | ●社会心理学                    | 2  | ○臨床心理学概論              | 2                |                        |                  |           |    |
| 人間                   | 必修科目6単位  | ●人体の構造と機能                 | 2  | ●生命科学概論               | 2                |                        |                  |           |    |
|                      |          | ●デジタル・フェノタイピング心身機能観察基礎演習  | 1  | ●脳科学論                 | 2                |                        |                  |           |    |
| 演習                   | 必修科目8単位  | ○健康管理実習                   | 1  | ●健康科学論                | 2                |                        |                  |           |    |
|                      |          | ●人間環境論                    | 2  | ●社会調査法-基礎             | 2                | ●持続可能型社会論              | 1                | ○社会調査法-応用 | 1  |
| キャリア                 | 必修科目3単位  | ●ウェルビーイング論                | 1  | ●ウェルビーイングと社会システム      | 2                | ●比較文化論                 | 2                |           |    |
|                      |          |                           |    | ●ポジティブコンピューティングI      | 2                | ●ポジティブコンピューティングII      | 1                | ●生命倫理学    | 2  |
| 合計(124単位以上)          |          | 必修科目(112単位)               | 34 |                       | 40               |                        | 28               |           | 10 |
|                      |          | 選択科目(12単位以上)              | 5  |                       | 6                |                        | 4                |           | 1  |
| <b>履修合計128単位</b>     |          |                           |    |                       |                  |                        |                  |           |    |

### ③IT・データサイエンス分野

ーテック系企業で求められる情報技術の活用力を修得する履修モデルー

⇒取得できる資格：基本情報技術者、ITパスポート、DX検定、統計検定

●は必修科目、○は選択科目

| 科目区分                 | 卒業要件             | 1年次                       |    | 2年次                   |    | 3年次                    |    | 4年次                 |    |
|----------------------|------------------|---------------------------|----|-----------------------|----|------------------------|----|---------------------|----|
|                      |                  | 授業科目名                     | 単位 | 授業科目名                 | 単位 | 授業科目名                  | 単位 | 授業科目名               | 単位 |
| 基本科目                 | 科学的表現<br>共創力育成領域 | ●基礎英語                     | 2  |                       |    | ●プレゼンテーション論            | 1  |                     |    |
|                      |                  | ●論理的思考と表現法                | 1  |                       |    | ●サイエンティフィックライティング      | 1  |                     |    |
|                      | ●アカデミックリテラシー     | 1                         |    |                       |    |                        |    |                     |    |
|                      |                  |                           |    | ●サイエンスコミュニケーション学      | 1  | ●ビジュアルコミュニケーション論       | 1  |                     |    |
| AI・データサイエンス・テクノロジー領域 | 必修科目<br>43単位     |                           |    | ●コミュニケーション入門          | 2  |                        |    |                     |    |
|                      |                  |                           |    | ●デザイン思考とイノベーション基礎     | 1  |                        |    |                     |    |
|                      |                  |                           |    | ●マーケティング論             | 1  |                        |    |                     |    |
|                      |                  |                           |    | ○科学英語                 | 1  |                        |    |                     |    |
|                      |                  | ●データサイエンスのための情報科学入門       | 2  | ●AI・データ倫理と社会          | 1  | ●AI・データサイエンスと社会        | 1  | ○システム思考とデータサイエンス-応用 | 2  |
|                      |                  | ●AI・データ活用リテラシー            | 1  | ●ウェルビーイングのための統計演習Ⅰ    | 2  | ●ビッグデータ解析-基礎           | 2  |                     |    |
|                      |                  | ●データサイエンスのための基礎数学Ⅰ(解析・幾何) | 2  | ●プログラミング入門            | 2  | ●ビッグデータ解析-発展           | 2  |                     |    |
|                      |                  | ●統計学                      | 2  | ●AI活用入門               | 2  | ●ロボティクス基礎              | 2  |                     |    |
|                      |                  |                           |    | ●システム思考とデータサイエンス-基礎   | 2  | ●先端テクノロジー概論            | 2  |                     |    |
|                      |                  |                           |    | ●デジタル・フェノタイピング健康情報計測学 | 1  | ●健康情報処理学               | 2  |                     |    |
| コア科目                 | 必修科目<br>21単位     | ●ヒューマンⅠ                   | 2  |                       |    |                        |    |                     |    |
|                      |                  | ●ヒューマンⅡ                   | 2  |                       |    |                        |    |                     |    |
|                      |                  | ●心身健康科学Ⅰ                  | 2  |                       |    |                        |    |                     |    |
|                      |                  | ●心身健康科学Ⅱ                  | 2  |                       |    |                        |    |                     |    |
|                      |                  | ●ウェルビーイング演習               | 1  | ●ウェルビーイング地域支援演習Ⅰ      | 2  | ●こことからだのウェルビーイングプロジェクト | 2  |                     |    |
|                      |                  |                           |    | ●ヘルスデータイターンシップ        | 2  | ○ウェルビーイング地域支援演習Ⅱ       | 2  |                     |    |
| 分野別科目                | 必修科目<br>13単位     | ●心理学概論                    | 2  | ●こことからだのウェルビーイング探究Ⅲ   | 1  | ●こことからだのウェルビーイング探究Ⅴ    | 1  |                     |    |
|                      |                  | ●行動科学概論                   | 2  | ●こことからだのウェルビーイング探究Ⅳ   | 1  | ●こことからだのウェルビーイング探究Ⅵ    | 1  |                     |    |
|                      |                  |                           |    | ●こことからだのウェルビーイング探究Ⅰ   | 1  |                        |    |                     |    |
|                      |                  |                           |    | ●こことからだのウェルビーイング探究Ⅱ   | 1  |                        |    |                     |    |
| 文化・人間・社会             | 必修科目<br>9単位      |                           |    | ●心理学と行動の測り方           | 2  | ●感性評価論                 | 1  |                     |    |
|                      |                  |                           |    | ●人間関係論                | 2  | ●心身相関の科学               | 1  |                     |    |
|                      |                  |                           |    | ●このころの科学と検査-基礎        | 1  |                        |    |                     |    |
| 人間と未来                | 必修科目<br>6単位      |                           |    | ●ストレス科学               | 2  |                        |    |                     |    |
|                      |                  | ●人間環境論                    | 2  | ●社会調査法-基礎             | 2  | ●持続可能型社会論              | 1  |                     |    |
| 演習合                  | 必修科目<br>5単位      |                           |    | ●ウェルビーイングと社会システム      | 2  | ●比較文化論                 | 2  |                     |    |
|                      |                  |                           |    | ○社会調査法-応用             | 1  |                        |    |                     |    |
| キャリア形成科目             | 必修科目<br>3単位      | ●ウェルビーイング論                | 1  | ●ポジティブコンピューティングⅠ      | 2  | ●ポジティブコンピューティングⅡ       | 1  | ●生命倫理学              | 2  |
|                      |                  |                           |    |                       |    |                        |    |                     |    |
| 合計<br>(124単位以上)      |                  | 必修科目(112単位)               | 34 |                       | 40 |                        | 28 | ●人間総合科学の探究Ⅰ         | 4  |
|                      |                  | 選択科目(12単位以上)              | 1  |                       | 5  |                        | 5  | ●人間総合科学の探究Ⅱ         | 4  |
| <b>履修合計125単位</b>     |                  |                           |    |                       |    |                        |    |                     |    |

## ④ 公共機関・政策提言（ウェルビーイング関連分野）

— 地域社会の健康課題に取り組む力を修得する履修モデル —

⇒ 取得できる資格：心身健康アドバイザー、健康管理士

●は必修科目、○は選択科目

| 科目区分                 | 卒業要件         | 1年次                       |         | 2年次                   |          | 3年次                    |    | 4年次            |    |
|----------------------|--------------|---------------------------|---------|-----------------------|----------|------------------------|----|----------------|----|
|                      |              | 授業科目名                     | 単位      | 授業科目名                 | 単位       | 授業科目名                  | 単位 | 授業科目名          | 単位 |
| 基本科目                 | 科学的表現        | ●基礎英語                     | 2       |                       |          | ●プレゼンテーション論            | 1  |                |    |
|                      | 共創力育成領域      | ●論理的思考と表現法                | 1       |                       |          | ●サイエンティフィックライティング      | 1  |                |    |
|                      |              | ●アカデミックリテラシー              | 1       |                       |          |                        |    |                |    |
| AI・データサイエンス・テクノロジー領域 | 必修科目 4.3 単位  | ●データサイエンスのための情報科学入門       | 2       | ●サイエンスコミュニケーション学      | 1        | ●ビジュアルコミュニケーション論       | 1  |                |    |
|                      |              | ●AI・データ活用リテラシー            | 1       | ●コミュニケーション入門          | 2        |                        |    |                |    |
|                      |              | ●データサイエンスのための基礎数学Ⅰ（解析・幾何） | 2       | ●デザイン思考とイノベーション基礎     | 1        |                        |    |                |    |
|                      |              | ●統計学                      | 2       | ●マーケティング論             | 1        |                        |    |                |    |
|                      |              |                           |         | ○実用英語                 | 1        |                        |    |                |    |
|                      |              |                           |         | ●AI・データ倫理と社会          | 1        | ●AI・データサイエンスと社会        | 1  |                |    |
|                      |              |                           |         | ●ウェルビーイングのための統計演習Ⅰ    | 2        | ●ビッグデータ解析-基礎           | 2  |                |    |
|                      |              |                           |         | ●プログラミング入門            | 2        | ●ビッグデータ解析-発展           | 2  |                |    |
|                      |              |                           |         | ●AI活用入門               | 2        | ●ロボティクス基礎              | 2  |                |    |
|                      |              |                           |         | ●システム思考とデータサイエンス-基礎   | 2        | ●先端テクノロジー概論            | 2  |                |    |
|                      |              |                           |         | ●デジタル・フェノタイピング健康情報計測学 | 1        | ●健康情報処理学               | 2  |                |    |
|                      |              |                           |         |                       |          | ●ストレス評価学               | 2  |                |    |
|                      |              |                           |         |                       |          | ●ストレスマネジメント演習          | 1  |                |    |
| コア科目                 | 人間の統合的       | ●ヒューマンⅠ                   | 2       |                       |          |                        |    |                |    |
|                      | フェイェルビィイング実践 | ●ヒューマンⅡ                   | 2       |                       |          |                        |    |                |    |
|                      |              | ●心身健康科学Ⅰ                  | 2       |                       |          |                        |    |                |    |
|                      | 必修科目 2.1 単位  | ●心身健康科学Ⅱ                  | 2       |                       |          |                        |    |                |    |
|                      |              | ●ウェルビーイング演習               | 1       | ●ウェルビーイング地域支援演習Ⅰ      | 2        | ●こことからだのウェルビーイングプロジェクト | 2  | ○ウェルビーイングツーリズム | 1  |
|                      |              |                           |         | ●ヘルスデータインターンシップ       | 2        | ○ウェルビーイング地域支援演習Ⅱ       | 2  |                |    |
|                      |              | ●こことからだのウェルビーイング探究Ⅰ       | 1       | ●こことからだのウェルビーイング探究Ⅲ   | 1        | ●こことからだのウェルビーイング探究Ⅴ    | 1  |                |    |
|                      |              | ●こことからだのウェルビーイング探究Ⅱ       | 1       | ●こことからだのウェルビーイング探究Ⅳ   | 1        | ●こことからだのウェルビーイング探究Ⅵ    | 1  |                |    |
| 分野別科目                | だこの関係        | ●心理学概論                    | 2       | ●ここと行動の測り方            | 2        | ●感性評価論                 | 1  |                |    |
|                      | しいくみちと健康の    | ●行動科学概論                   | 2       | ●人間関係論                | 2        | ●心身相関の科学               | 1  |                |    |
|                      |              | ●人間の構造と機能                 | 2       | ●この科学と検査-基礎           | 1        |                        |    |                |    |
|                      |              | ●デジタル・フェノタイピング心身機能観察基礎演習  | 1       | ●ストレス科学               | 2        |                        |    |                |    |
|                      | ○体育          | 1                         | ●生命科学概論 | 2                     | ○女性健康科学論 | 1                      |    |                |    |
|                      |              |                           |         | ●脳科学論                 | 2        | ○公衆衛生学                 | 1  |                |    |
|                      |              |                           |         | ●健康科学論                | 2        | ○高齢者健康科学論              | 2  |                |    |
|                      | 人間・社会と       | ●人間環境論                    | 2       | ●社会調査法-基礎             | 2        | ●持続可能型社会論              | 1  |                |    |
|                      | 9 単位         | ○文明の成り立ち                  | 2       | ●ウェルビーイングと社会システム      | 2        | ●比較文化論                 | 2  |                |    |
|                      |              | ○社会学概論                    | 1       | ○保健学                  | 2        | ○高齢者福祉論                | 2  |                |    |
|                      | 人間           | ●ウェルビーイング論                | 1       | ●ポジティブコンピューティングⅠ      | 2        | ●ポジティブコンピューティングⅡ       | 1  | ●生命倫理学         | 2  |
|                      | 6 単位         |                           |         |                       |          |                        |    |                |    |
| 演習                   | 8 単位         |                           |         |                       |          |                        |    | ●人間総合科学の探究Ⅰ    | 4  |
|                      | 必修科目         |                           |         |                       |          |                        |    | ●人間総合科学の探究Ⅱ    | 4  |
| キャリア                 | 3 単位         | ●職業・キャリア形成Ⅰ               | 1       |                       |          | ●職業・キャリア形成Ⅱ            | 1  |                |    |
|                      | 必修科目         | ●コミュニケーション演習              | 1       |                       |          |                        |    |                |    |
| 科目                   |              | ○ボランティア活動                 | 1       |                       |          |                        |    |                |    |
|                      |              |                           |         |                       |          |                        |    |                |    |
| 合計                   |              | 必修科目 (112単位)              | 34      |                       | 40       |                        | 28 |                | 10 |
| (124単位以上)            |              | 選択科目 (12単位以上)             | 5       |                       | 3        |                        | 8  |                | 1  |

履修合計129単位



## ⑥ 大学院進学

—研究・進学重視履修モデル—

⇒取得できる資格：心身健康アドバイザー、統計検定、社会調査士

●は必修科目、○は選択科目

| 科目区分             | 卒業要件                   | 1年次  |                       | 2年次   |                            | 3年次  |   | 4年次    |         |
|------------------|------------------------|--|-----------------------|---|----------------------------|--|---|--------|---------|
|                  |                        | 授業科目名  | 単位                    | 授業科目名   | 単位                         | 授業科目名  | 単位  | 授業科目名  | 単位      |
| 基本科目             | 科学的表現領域                | ●基礎英語<br>●論理的思考と表現法<br>●アカデミックリテラシー  | 2<br>1<br>1           |   |                            | ●プレゼンテーション論<br>●サイエンティフィックライティング   | 1<br>1                                    |        |         |
|                  | 共創力育成領域                |  |                       | ●サイエンスコミュニケーション学<br>●コミュニケーション入門<br>●デザイン思考とイノベーション基礎<br>●マーケティング論<br>○科学英語                                 | 1<br>2<br>1<br>1<br>1      | ●ビジュアルコミュニケーション論   | 1   |        |         |
|                  | 域 AI・データサイエンス・テクノロジー領域 | 必修科目 43 単位<br>●データサイエンスのための情報科学入門<br>●AI・データ活用リテラシー<br>●データサイエンスのための基礎数学 I (解析・幾何)<br>●統計学 | 2<br>1<br>2<br>2      | ●AI・データ倫理と社会<br>●ウェルビーイングのための統計演習 I<br>●プログラミング入門<br>●AI活用入門<br>●システム思考とデータサイエンス基礎<br>●デジタル・フェノタイピング健康情報計測学 | 1<br>2<br>2<br>2<br>2<br>1 | ●AI・データサイエンスと社会<br>●ビッグデータ解析-基礎<br>●ビッグデータ解析-発展<br>●ロボティクス基礎<br>●先端テクノロジー概論<br>●健康情報処理学<br>●ストレス評価学<br>●ストレスマネジメント演習<br>○ウェルビーイングのための統計演習 II | 1<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>1<br>1<br>2 |        |         |
| コア科目             | 人間の統合的                 | ●ヒューマン I<br>●ヒューマン II<br>●心身健康科学 I<br>●心身健康科学 II   | 2<br>2<br>2<br>2      |   |                            |  |   |        |         |
|                  | 実践フィールド                | ●ウェルビーイング演習  | 1                     | ●ウェルビーイング地域支援演習 I<br>●ヘルスデータインターンシップ  | 2<br>2                     | ●こことからだのウェルビーイングプロジェクト   | 2   |        |         |
|                  | 実践演習                   | ●こことからだのウェルビーイング探究 I<br>●こことからだのウェルビーイング探究 II  | 1<br>1                | ●こことからだのウェルビーイング探究 III<br>●こことからだのウェルビーイング探究 IV   | 1<br>1                     | ●こことからだのウェルビーイング探究 V<br>●こことからだのウェルビーイング探究 VI  | 1<br>1                                    |        |         |
| 分野別科目            | こことからだの関係              | 必修科目 13 単位<br>●心理学概論<br>●行動科学概論<br>○感情・行動パターンの心理学  | 2<br>2<br>2           | ●ここと行動の測り方<br>●人間関係論<br>●こころの科学と検査-基礎<br>●ストレス科学<br>○発達心理学<br>○社会心理学  | 2<br>2<br>1<br>2<br>2<br>2 | ●感性評価論<br>●心身相関の科学   | 1<br>1                                    |        |         |
|                  | いのちと健康のしくみ             | 必修科目 9 単位<br>●人体の構造と機能<br>●デジタル・フェノタイピング心身機能観察基礎演習<br>○体育<br>○自律神経生理学<br>○免疫学              | 2<br>1<br>1<br>1<br>2 | ●生命科学概論<br>●脳科学論<br>●健康科学論  | 2<br>2<br>2                | ○分子生物学   | 1   |        |         |
|                  | 間文化・社会と人               | 必修科目 9 単位<br>●人間環境論  | 2                     | ●社会調査法-基礎<br>●ウェルビーイングと社会システム   | 2<br>2                     | ●持続可能型社会論<br>●比較文化論<br>○社会調査法-応用<br>○社会調査実践 I<br>○社会調査実践 II  | 1<br>2<br>1<br>2<br>2                     |        |         |
|                  | 人間と未来                  | 必修科目 6 単位<br>●ウェルビーイング論  | 1                     | ●ポジティブコンピューティング I   | 2                          | ●ポジティブコンピューティング II   | 1   | ●生命倫理学 | 2       |
| 演習合              | 必修科目 8 単位              |  |                       |   |                            |  | ●人間総合科学の探究 I<br>●人間総合科学の探究 II             | 4<br>4 |         |
| キャリア形成           | 必修科目 3 単位              | ●職業・キャリア形成 I<br>●コミュニケーション演習   | 1<br>1                |   |                            | ●職業・キャリア形成 II  | 1   |        |         |
| 合計 (124単位以上)     |                        | 必修科目 (112単位)<br>選択科目 (12単位以上)  | 34<br>6               |   | 40<br>5                    |  | 28<br>8                                   |        | 10<br>0 |
| <b>履修合計131単位</b> |                        |  |                       |   |                            |  |   |        |         |

# 実習施設一覧

【資料4】

| No. | 実習施設名                 | 業種                  | 所在地        | ◎候補実習先              |                     |                      |                    | 実習受入可能人数            |                     |                      |                   |
|-----|-----------------------|---------------------|------------|---------------------|---------------------|----------------------|--------------------|---------------------|---------------------|----------------------|-------------------|
|     |                       |                     |            | ウェルビーイング<br>地域支援演習Ⅰ | ウェルビーイング<br>地域支援演習Ⅱ | イン<br>タース<br>デー<br>タ | ヘル<br>ス<br>デー<br>タ | ウエルビーイング<br>地域支援演習Ⅰ | ウエルビーイング<br>地域支援演習Ⅱ | イン<br>タース<br>デー<br>タ | ウエルビーイング<br>ツーリズム |
|     |                       |                     |            |                     |                     |                      |                    |                     |                     |                      |                   |
| 1   | 株式会社コルラボ              | DX,AI,ITwell-being  | 東京都小金井市    | ◎                   | ◎                   |                      | ◎                  | 2                   | 2                   | 2                    | 0                 |
| 2   | 埼玉医科大学 医学部小児科         | 医療・保健well-being     | 埼玉県入間郡毛呂山町 |                     |                     | ◎                    |                    | 20                  | 20                  | 20                   | 0                 |
| 3   | Little,Seekers (佐藤商会) | 教育well-being        | 山口県山口市     | ◎                   | ◎                   |                      |                    | 2                   | 2                   | 2                    | 0                 |
| 4   | スカイヒルグランピング～四万十の星空～   | well-being ツーリズム    | 高知県高岡郡四万十町 |                     |                     |                      |                    | 0                   | 0                   | 0                    | 10                |
| 5   | からだ工房とりさわ鍼灸治療院        | 医療・保健well-being     | 東京都小平市     |                     |                     | ◎                    |                    | 3                   | 3                   | 3                    | 0                 |
| 6   | 一般社団法人ニューロナレッジ人工知能研究所 | DX,AI,ITwell-being  | 東京都東村山市    |                     |                     |                      | ◎                  | 3                   | 3                   | 3                    | 0                 |
| 7   | ミライフデザイン合同会社          | 社会well-being        | 東京都中央区     | ◎                   | ◎                   |                      |                    | 2                   | 2                   | 3                    | 0                 |
| 8   | 特定非営利活動法人 北本市観光協会     | well-being ツーリズム    | 埼玉県北本市     | ◎                   | ◎                   |                      |                    | 3                   | 3                   | 0                    | 3                 |
| 9   | 一般社団法人 社会的健康戦略研究所     | 社会well-being        | 東京都港区      | ◎                   | ◎                   |                      |                    | 1                   | 1                   | 2                    | 0                 |
| 10  | 株式会社栄養セントラルジャパン       | 教育well-being        | 千葉県船橋市     | ◎                   |                     |                      |                    | 10                  | 10                  | 10                   | 0                 |
| 11  | 一般社団法人 保育栄養安全衛生協会     | 教育well-being        | 千葉県船橋市     |                     |                     |                      |                    | 10                  | 10                  | 10                   | 0                 |
| 12  | 栄養セントラルグループめだかの学校     | 教育well-being        | 千葉県船橋市     | ◎                   | ◎                   |                      |                    | 5                   | 5                   | 5                    | 0                 |
| 13  | 株式会社シェアブラウズ           | DX,AI,ITwell-being  | 山口県宇部市     | ◎                   | ◎                   |                      |                    | 3                   | 3                   | 3                    | 0                 |
| 14  | 一般社団法人 自在能力開発研究所      | 教育well-being        | 東京都小金井市    | ◎                   | ◎                   |                      |                    | 1                   | 1                   | 0                    | 0                 |
| 15  | インタークロス株式会社           | well-beingデバイス開発・販売 | 東京都豊島区     | ◎                   | ◎                   |                      | ◎                  | 2                   | 2                   | 3                    | 0                 |
| 16  | イーストメディック株式会社         | well-beingデバイス開発・販売 | 石川県金沢市     |                     |                     |                      | ◎                  | 1                   | 1                   | 1                    | 0                 |
| 17  | 心身健康倶楽部パーソナルトレーナージャパン | 医療・保健well-being     | 東京都新宿区     | ◎                   |                     |                      |                    | 2                   | 2                   | 2                    | 0                 |
| 18  | KBメディカルドック            | 医療・保健well-being     | 東京都荒川区     | ◎                   |                     | ◎                    |                    | 5                   | 5                   | 5                    | 0                 |
| 19  | 熱海ごきげん館               | 医療・保健well-being     | 静岡県熱海市     | ◎                   |                     |                      |                    | 5                   | 5                   | 5                    | 0                 |
| 20  | プライマリーヘルスカンパニー        | 医療・保健well-being     | 鹿児島県鹿児島市   |                     |                     | ◎                    |                    | 1                   | 1                   | 1                    | 0                 |
| 21  | 医療法人三州会 大勝病院          | 医療・保健well-being     | 鹿児島県鹿児島市   |                     |                     | ◎                    |                    | 2                   | 2                   | 2                    | 0                 |
| 22  | アイフォーコム               | DX,AI,ITwell-being  | 神奈川県横浜市    |                     |                     |                      | ◎                  | 3                   | 3                   | 3                    | 0                 |

| No. | 実習施設名               | 業種                     | 所在地        | ◎候補実習先              |                     |                    |                                 | 実習受入可能人数    |                     |                     |                     |                    |                   |
|-----|---------------------|------------------------|------------|---------------------|---------------------|--------------------|---------------------------------|-------------|---------------------|---------------------|---------------------|--------------------|-------------------|
|     |                     |                        |            | ウェルビーイング<br>地域支援演習Ⅰ | ウェルビーイング<br>地域支援演習Ⅱ | インヘルスデー<br>インターシッタ | 健康・福祉・教育・<br>まちづくり関連地域<br>企業・施設 | 医療・福<br>祉機関 | デジタル<br>支援企<br>業・機関 | ウェルビーイング<br>地域支援演習Ⅰ | ウェルビーイング<br>地域支援演習Ⅱ | インヘルスデー<br>インターシッタ | ウェルビーイング<br>ツリーズム |
|     |                     |                        |            |                     |                     |                    |                                 |             |                     |                     |                     |                    |                   |
| 23  | 蓮田市 商工会議所           | 社会well-being           | 埼玉県蓮田市     |                     | ◎                   |                    |                                 |             |                     | 15                  | 15                  | 15                 | 0                 |
| 24  | 株式会社 クレセント          | DX,AI,ITwell-being     | 東京都江東区     |                     |                     | ◎                  |                                 |             |                     | 5                   | 5                   | 5                  | 0                 |
| 25  | 株式会社WARK            | DX,AI,ITwell-being     | 東京都渋谷区     |                     |                     | ◎                  |                                 |             |                     | 0                   | 0                   | 1                  | 0                 |
| 26  | 佐藤学園（ヒューマンキャンパスのぞみ） | 教育well-being           | （本校）千葉県茂原市 | ◎                   |                     |                    |                                 |             |                     | 1                   | 1                   | 1                  | 0                 |
| 27  | 日本心身健康科学会           | 教育well-being           | 埼玉県さいたま市   | ◎                   | ◎                   |                    |                                 |             |                     | 3                   | 3                   | 3                  | 0                 |
| 28  | ゲイトアシスト合同会社         | 医療・保健well-being        | 埼玉県さいたま市   |                     |                     | ◎                  |                                 |             |                     | 1                   | 1                   | 1                  | 0                 |
| 29  | 株式会社PCCS            | DX,AI,ITwell-being     | 埼玉県さいたま市   |                     |                     |                    | ◎                               |             |                     | 2                   | 2                   | 2                  | 0                 |
| 30  | 川村義肢株式会社            | 医療・保健well-being        | 大阪府大東市     |                     |                     | ◎                  |                                 |             |                     | 1                   | 1                   | 1                  | 0                 |
| 31  | 株式会社愛和義肢製作所         | 医療・保健well-being        | 東京都練馬区     |                     |                     | ◎                  |                                 |             |                     | 2                   | 2                   | 2                  | 0                 |
| 32  | 株式会社AiCELLEX        | 医療・保健well-being        | 広島県広島市     |                     |                     | ◎                  |                                 |             |                     | 2                   | 2                   | 2                  | 0                 |
| 33  | グラフィカ株式会社           | DX,AI,ITwell-being     | 福岡県福岡市     |                     | ◎                   |                    |                                 |             |                     | 2                   | 2                   | 2                  | 0                 |
| 34  | 山口大学工学部ものづくり創生センター  | DX,AI,ITwell-being     | 山口県宇部市     | ◎                   |                     |                    |                                 |             |                     | 20                  | 20                  | 20                 | 0                 |
| 35  | ポーザー株式会社            | 教育身体DX,AI,ITwell-being | 山口県柳井市     | ◎                   |                     |                    |                                 |             |                     | 5                   | 5                   | 5                  | 0                 |
| 36  | 合同会社アクトスリー          | スタートアップ・well-being     | 山口県岩国市     | ◎                   |                     |                    |                                 |             |                     | 2                   | 2                   | 2                  | 0                 |
| 37  | 東名ブレース株式会社          | 医療・保健well-being        | 愛知県瀬戸市     |                     |                     | ◎                  |                                 |             |                     | 1                   | 1                   | 1                  | 0                 |
| 38  | 株式会社ステラリンク          | DX,AI,Web・well-being   | 山口県光市      |                     | ◎                   |                    |                                 |             |                     | 2                   | 2                   | 2                  | 0                 |
| 39  | コワーキングスペース ヒカリバ     | DX,AI,Web・well-being   | 山口県光市      | ◎                   |                     |                    |                                 |             |                     | 2                   | 2                   | 2                  | 0                 |
| 40  | 株式会社 エイム            | DX,AI,Web・well-being   | 山口県宇部市     | ◎                   | ◎                   |                    | ◎                               |             |                     | 2                   | 2                   | 2                  | 0                 |
| 41  | アーズ株式会社             | DX,AI,Web・well-being   | 東京都新宿区     |                     |                     |                    | ◎                               |             |                     | 1                   | 1                   | 1                  | 0                 |
| 42  | 株式会社豊橋設計            | DX,AI,Web・well-being   | 愛知県豊橋市     |                     |                     |                    | ◎                               |             |                     | 2                   | 2                   | 2                  | 0                 |
| 43  | 国際ストレス行動学会アジア会議     | 教育well-being           | 東京都小平市     |                     | ◎                   |                    |                                 |             |                     | 3                   | 3                   | 3                  | 0                 |
| 44  | 株式会社環境デザイン研究所       | DX,AI,Web・well-being   | 東京都港区      | ◎                   | ◎                   |                    |                                 |             |                     | 1                   | 1                   | 1                  | 0                 |
|     |                     |                        |            | 施設数計                | 21                  | 16                 | 10                              | 11          |                     |                     |                     |                    |                   |
|     |                     |                        |            | 受入合計数               | 79                  | 49                 | 38                              | 25          |                     |                     |                     |                    |                   |

【資料 5】

# 実習施設の承諾書

## 通学課程と通信教育課程の比較

## 【資料 6】

|         | 通学課程（新設）  | 通信教育課程（既存）       |
|---------|---|------------------|
| 課程名     | 人間科学部 心身健康科学科   | 人間科学部 心身健康科学科    |
| 開設年月    | 令和 8 年（2026）年 4 月予定   | 平成 12（2000）年 4 月 |
| 入学定員    | 40 人  | 250 人            |
| 学位名     | 学士（人間科学）  | 学士（人間科学）         |
| 学位の分野   | 文学  | 文学               |
| 教育課程    | 心身健康科学により構成   | 心身健康科学により構成      |
| 養成する人材像 | <p>学則第 1 条の 2</p> <p><b>【通学課程】</b>「こころ」「からだ」「文化・社会」の側面から、人間を科学的、学際的に理解し、デジタル技術を活用して心身ともに健康で豊かに暮らせる社会の構築を支援できる人材の養成を目的とする。</p> <p><b>【通信教育課程】</b>「こころ」「からだ」「文化・社会」の側面から、人間を科学的、学際的に理解し、心身ともに健康で豊かに暮らせる社会構築を支援できる人材の養成を目的とする。</p>   |                  |
| AP      | <p><b>【共通①】</b> 人間の「こころ」「からだ」「文化・社会」の学びに関心があり、その社会応用に必要な科学技術の修得に興味のある人。</p> <p><b>【共通②】</b> 人間の理解とウェルビーイング(心身の健康と幸福)に関心があり、心身ともに健康で豊かな人生と幸せな社会づくりを追求するために必要な教養(リベラル・アーツ)を修得する意欲を持つ人。</p> <p><b>【共通③】</b> 社会の動向や科学と技術の進展に関心を持ち、生涯にわたって学び続ける意欲を持つ人。</p> <p><b>【通学課程④】</b> 自立の精神と自己理解を大切にし、学友や教員とキャンパスで直接交流しながら協働的かつ主体的に課題に取り組む意欲を持ち、AI やデータサイエンスなどのテクノロジー分野への興味や学修意欲を持つ人。</p> <p><b>【通信教育課程④】</b> 自立の精神と自己理解を大切にし、オンラインによる柔軟な学修環境を活かして、自らの社会的経験を基盤にした学びを主体的に追求する意欲のある人。</p> |                  |

|    |   |
|----|---|
| CP | <p>【共通①】人間を「こころ」「からだ」「文化・社会」の側面から多角的に理解し、個人および社会のウェルビーイングの実現に貢献するための基盤となる学識および学際的な視点や思考力（よりよく生きるための知恵：Knowledge for well-being）を修得するために、『コア科目』として、心身健康科学および人間総合科学を学ぶ科目群を配置する。</p>   |
|    | <p>【共通②】「こころ」「からだ」「文化・社会」の広範な領域から専門的知識を修得し、人間や社会についての学際的理解を深化するための科目群を配置するとともに、現代・未来社会において社会の動向に関心を持ち、学び続ける意欲を育み、心身ともに豊かで健康な社会を築くための視座やスキルを修得するための『分野別科目』を、学生の背景や学修環境を考慮して配置する。</p>   |
|    | <p>【共通③】「こころ」「からだ」「文化・社会」の学際的知識を統合し、社会生活に存在する多様な課題に対して科学的にアプローチし、必要な情報を的確に収集し取捨選択できる「情報収集力」や未知の知識を学ぶ「探究力」、科学的知識を応用して問題解決を図る力を修得するための科目群『基本科目』および『総合演習』を配置する。</p>  |
|    | <p>【通学課程④】次世代のリーダーとして必要な力を涵養するため、対面でのアクティブ・ラーニング、グループワーク、実践的演習・実習科目等を通じて、課題発見から計画立案、実行、検証、改善に至るまでのプロセスを体験的に学ぶ学修機会を体系的に提供する。</p> <p>【通信教育課程④】働きながら学ぶ学生やリスキルを目指す社会人が、柔軟な学修環境を活用して、オンラインでの学修を通じて基礎的知識や実践的スキルを体系的に修得できるよう配慮した学修機会を提供する。</p> |
| DP | <p>【共通①】心身健康科学を基盤とし、「こころ」「からだ」「文化・社会」の視点から人間や社会を学際的に思考し、それらを統合する力を備えていること。</p>  |
|    | <p>【共通②】個人および社会のウェルビーイング実現を目指し、困難に直面しても探究心を持ち前向きに行動し、継続して社会づくりに貢献する力を備えていること。</p>   |
|    | <p>【共通③】他者と協働し、自立の姿勢と共生の心を持ちながら課題に取り組み、豊かな人間性とコミュニケーション力を活かして社会課題を解決する力を備えていること。</p>  |
|    | <p>【通学課程④】未来社会で求められる知識とスキルを修得し、デジタル技術を含む科学やテクノロジー、社会の動向に関心を持ちながら、社会的課題を見極めて解決に取り組む次世代のリーダーとしての力を備えていること。</p> <p>【通信教育課程④】自らの社会経験に基づく深い洞察力を基盤に、自律的な学修を通じて自身の価値や強みを再発見し、新たに学んだ知識やスキルを統合しながら次世代を創造する力を備え、自らの人生を切り開く能力を修得していること。</p>        |

AP ,CP ,DP :それぞれアドミッション・ポリシー,カリキュラム・ポリシー,ディプロマ・ポリシー

学校法人早稲田医療学園 就業規則

制 定 日： 昭和62年 4月 1日

最新改定日： 平成31年 3月22日 (理事会)

---

この規則は、学校法人早稲田医療学園（以下「学園」という）と教職員が相互の信頼の上に立ち、学園の発展と教職員の福祉の向上を図るために制定したものである。学園と教職員は職務について責任をもって積極的に、かつ誠実にその義務を遂行することにより、この目的を達成しなければならない。

（省略）

---

（定年）

**第19条** 教育職員の定年は満65歳とし、事務職員の定年は60歳とする。

2 教職員は定年に達した日の属する年度の末日をもって退職するものとする。

3 本条第1項、第2項の規定は、学長及び校長には適用しない。

4 事務職員については、本人が希望し、高年齢者雇用安定法第9条2項に基づき労使協定により定められた基準に該当した者については定年退職者の再雇用に関する規程に基づき再雇用することがある。

（省略）

---

## 人間総合科学大学 教員任期規程運用細則

制 定 日：平成21年 9月27日（理事会）

最新改定日：平成21年12月21日（理事会）

---

## （目的）

**第1条** この細則は、人間総合科学大学教員任期規程（以下「任期規程」という。）第5条に基づき、その運用に関して必要な事項を定める。

## （再任事前審査の手続き等）

**第2条** 教員選考委員会（以下「委員会」という。）は、教員の任期が満了となる日の原則として7月前までに、教育課程の編成方針、勤務成績等を勘案の上、引き続き任用（以下「再任」という。）の対象者とするかについて事前審査を行うものとする。

2 理事長は、前項の可否の事前審査結果に基づいて、速やかに再任の対象者に対して、次の書類を交付するものとする。

(1) 再任の非対象者

任期が満了する旨を記載した書類

(2) 再任の対象者

任期が満了する旨を記載した書類

再任希望調書

業績報告書

3 前項第2号の規定に基づくものは、所定の期日までに、理事長に再任希望調書を提出しなければならない。この場合、再任希望を有とした者（以下「再任希望者」という。）は、業績報告書を作成の上、当該書類を添えなければならないものとする。

## （再任の可否の審査等）

**第3条** 委員会は、再任希望者の現任期間中の業績報告書等を基に業績等を評価・審査し、再任の可否の決定を行う。

2 委員会は、前項の審査を行うに当たって、第2条第2項第2号に規定する業績報告書のほか審査に必要な書類の提出を求め、必要に応じて面接を行うことができるものとする。

3 委員会は、第1項に規定する決定を、教員の任期が満了となる日の原則として6月前までにしなければならない。審査の結果、再任が可の場合で付記事項を付けることができるものとする。

## （通知等）

**第4条** 理事長は、前条第3項の規定に基づき、その旨を再任の対象者に通知しなければならない。

2 前項の規定に基づく通知を受けた再任対象者は、再任を受任するときは同意書を提出しなければならない。

## （新設学部等の任期の取扱い）

**第5条** 本大学に新規に学部、学科、研究科または専攻等（以下「新設学部等」という。）を設置する場合、完成年度までの期間における教員の任期の取扱いについては、原則として次のとおりとする。

(1) 完成年度までに、学校法人早稲田医療学園就業規則（以下「就業規則」という。）第19条の規定による定年に達しない場合  
当該新設学部等の完成年度まで

(2) 完成年度途中で、就業規則第19条の規定による定年に達する場合

当該新設学部等の完成年度までの雇用とし、定年を超える年度の取扱いについては、学校法人早稲田医療学園非常勤講師等に関する就業規則に定めるところによる。

但し、定年を超える各年度における人間総合科学大学教員選考委員会規程(以下「委員会規程」という。)第1条第2項の規定による選考についての協議は省略することができる。

(3) 就業規則第19条の規定による定年に達している者を雇用する場合

当該新設学部等の完成年度までの雇用とし、雇用時以降の各年度における委員会規程第1条第2項の規定による選考についての協議は省略することができる。

- 2 前項の規定により採用された者が任期満了の日を迎えようとするときは、任期規程による。但し、前項第2号及び第3号の規定に基づき採用された者については、本大学の運営、教育研究上特に必要がある場合に限る。

(改廃)

第6条 この細則の改廃については、理事長が決定する。

---

附則

- 1 この細則は、平成21年 9月27日から施行する。

附則

- 1 この細則は、平成21年12月21日から施行する。

学校法人早稲田医療学園 定年退職者等の採用に関する規程

制 定 日：平成16年12月22日（理事会）

最新改定日：平成20年 3月23日（理事会）

---

（目的）

**第1条** この規程は、学校法人早稲田医療学園就業規則（以下「就業規則」という。）第18条に定める定年に達している者（以下「定年退職者等」という。）について、教育研究上特段の必要性がある場合に、本学園の各設置校の専任教員として採用するにあたって、その取扱について定める。

（対象者）

**第2条** 前条の定年退職者等とは次の各号に掲げる者とする。

- （1）本学園に在職していた正規の教育職員で、定年退職となった者
- （2）本学園以外の学校等を退職し、就業規則第18条に定める定年に達している者

（雇用）

**第3条** 定年退職者等を本学園の各設置校に専任教員として採用する場合には、嘱託として雇用することができる。

- 2 採用された定年退職者等は、本規程に定めるもののほか、学校法人早稲田医療学園非常勤講師等に関する就業規則に従う。
- 3 人間総合科学大学において採用する場合には、人間総合科学大学 教員任用基準規程の定めるところによる。

（給与等）

**第4条** 第2条第1項第1号の規定に該当する者の給与は、定年時の基本給の80%を上限とし、出勤日数及び担当授業時間数等を考慮して定める。

- 2 第2条第1項第2号の規定に該当する者の給与は、別に定める。
- 3 定年退職者等の賞与及び各種手当（通勤手当を除く）は、原則として支給しない。

（退職）

**第5条** 雇用期間は、原則として採用する年度内（1年以内）とする。但し、継続して採用することがある。

- 2 前項にかかわらず1年以上の任期を定めて雇用することができる。
- 3 採用期間を過ぎた者は、自然退職とする。但し、継続採用される者にあつてはこの限りではない。

（改廃）

**第6条** この規程の改廃については、理事長が決定する。

---

附則

- 1 この規程は、平成16年12月22日から施行する。

附則

- 1 この規程は、平成20年 4月 1日から施行する。

令和8年度 心身健康科学科（通学課程） 前期時間割

2025/11/4 14:41

【心身健康科学科（通学課程）】 1年生（401 教室）

|   | 月  | 火                               | 水   | 木                     | 金                        |
|---|--|---------------------------------|---|-----------------------|--------------------------|
| 1 | ヒューマンⅠ<br>鍵谷・矢島・中山・川村・小柴<br>小岩・鈴木（は）・吉田（浩） | 心身健康科学Ⅰ<br>鍵谷・矢島・増田<br>小岩・鈴木（は） | コミュニケーション演習<br>鍵谷・矢島・中山・川村・小柴・鈴木・矢澤<br>小岩・鈴木（は）・吉田（浩）         | 健康管理実習<br>増田（敬）       | コンピュータ入門<br>川村           |
| 2 | 心理学概論<br>鈴木（康）                             | 基礎英語<br>北原                      | 体育<br>小平  | 論理的思考と表現法<br>永井       | データサイエンスのための情報科学入門<br>川村 |
| 3 | 職業・キャリア形成Ⅰ<br>小柴・時光                        |                                 | こころとからだのウェルビーイング探究Ⅰ<br>鍵谷・矢島・中山・川村・小柴・鈴木・矢澤<br>小岩・鈴木（は）・吉田（浩） |                       |                          |
| 4 | 行動科学概論<br>小柴                               |                                 |   | ボランティア活動<br>401<br>鍵谷 | 社会心理学<br>オンライン<br>澤海     |
| 5 |  | 国際研修<br>401<br>鍵谷               |   |                       |                          |

【心身健康科学科（通学課程）】 2年生（402 教室）

|   | 月  | 火   | 水                       | 木                        | 金  |
|---|--|---|-------------------------|--------------------------|--|
| 1 |  | こころと行動の測り方<br>小柴  | 健康科学論<br>久保田            | こころの科学と検査-基礎<br>鈴木（康）・矢澤 |  |
| 2 |  | プログラミング入門<br>川村   | 脳科学論<br>小岩              |                          | デザイン思考とイノベーション-基礎<br>小柴・飯塚   |
| 3 | サイエンスコミュニケーション学<br>鍵谷・矢島・中山・小岩・吉田（浩）         | こころとからだのウェルビーイング探究Ⅲ<br>鍵谷・矢島・中山・川村・小柴・鈴木・矢澤<br>小岩・鈴木（は）・吉田（浩） | ウェルビーイングのための統計演習Ⅰ<br>本間 | 実用英語<br>宮坂               | 社会調査法-基礎<br>矢澤   |
| 4 | デジタル・フェノタイピング健康情報計測学<br>鍵谷・矢島・中山・矢澤・小岩・吉田（浩） |   |                         | ボランティア活動<br>401<br>鍵谷    | 社会心理学<br>オンライン<br>澤海   |
| 5 | ウェルビーイング地域支援演習Ⅰ<br>小柴                        | 国際研修<br>401<br>鍵谷   |                         |                          | 生命科学概論<br>矢島<br>ウェルビーイングツールズⅠ<br>403<br>鍵谷・矢島・中村<br>ウェルビーイング実践Ⅰ<br>402<br>山口・鈴木（啓） |

【心身健康科学科（通学課程）】 3年生（403 教室）

|   | 月                        | 火  | 水                   | 木   | 金  |
|---|--------------------------|--|---------------------|---|--|
| 1 | ロボティクス基礎<br>川村           | カウンセリング入門<br>鈴木（康）   |                     | 先端テクノロジー論<br>小柴・川村・増田   | システム思考とデータサイエンス-応用<br>小柴<br>社会調査法-応用<br>矢澤                         |
| 2 | ビッグデータ解析-基礎<br>本間        | ポジティブコンピューティングⅡ<br>小柴・増田   | プレゼンテーション論<br>鍵谷・矢島 | ストレス評価学<br>鍵谷・矢島・矢澤・鈴木（康）・小岩・吉田（浩）                            | 健康情報処理学<br>鍵谷・矢島・中山・矢澤・小岩・吉田（浩）                                    |
| 3 | こころの科学と実験-個人<br>矢澤・鈴木（康） | 社会調査実践Ⅰ<br>吉田（浩）   | 分子生物学<br>庄子         | こころとからだのウェルビーイング探究Ⅴ<br>鍵谷・矢島・中山・川村・小柴・鈴木・矢澤<br>小岩・鈴木（は）・吉田（浩） | 職業・キャリア形成Ⅱ<br>小柴・時光  |
| 4 |                          | こころとからだのウェルビーイングプロジェクト<br>鍵谷・矢島・中山・川村・小柴・鈴木・矢澤<br>小岩・鈴木（は）・吉田（浩） | 持続可能型社会論<br>増田・小柴   | ボランティア活動<br>401<br>鍵谷   | 社会心理学<br>オンライン<br>澤海<br>ビジュアルコミュニケーション論<br>小柴                      |
| 5 |                          | 国際研修<br>401<br>鍵谷  |                     |   | ウェルビーイングツールズⅡ<br>403<br>鍵谷・矢島・中村<br>ウェルビーイング実践Ⅱ<br>402<br>山口・鈴木（啓） |

【心身健康科学科（通学課程）】 4年生（404 教室）

|   | 月 | 火                 | 水   | 木   | 金  |
|---|---|-------------------|---|---|--|
| 1 |   |                   |   |   | システム思考とデータサイエンス-応用<br>小柴<br>社会調査法-応用<br>矢澤                         |
| 2 |   | 生命倫理学<br>吉田（浩）    |   |   |  |
| 3 |   |                   |   |   |  |
| 4 |   |                   |   | ボランティア活動<br>401<br>鍵谷                                   | 社会心理学<br>オンライン<br>澤海   |
| 5 |   | 国際研修<br>401<br>鍵谷 | 人間総合科学の探求Ⅰ<br>鍵谷・矢島・中山・川村・小柴・鈴木・矢澤・増田<br>小岩・鈴木（は）・吉田（浩） | 人間総合科学の探求Ⅰ<br>鍵谷・矢島・中山・川村・小柴・鈴木・矢澤・増田<br>小岩・鈴木（は）・吉田（浩） | ウェルビーイングツールズⅢ<br>403<br>鍵谷・矢島・中村<br>ウェルビーイング実践Ⅲ<br>402<br>山口・鈴木（啓） |

【メディア授業】 前期

・臨床心理学概論 ・女性健康科学論 ・免疫学 ・保健学  
・地球・生命史 ・食べもの学 ・いのちの文化人類学

・・・オムニバス科目

令和8年度 心身健康科学科（通学課程） 後期時間割

2025/11/4 14:41

【心身健康科学科（通学課程）】 1年生（401 教室）

|   | 月                              | 火                 | 水   | 木  | 金                                 |
|---|--------------------------------|-------------------|---|--|-----------------------------------|
| 1 | AI・データ活用リテラシー<br>川村            |                   |   | ウェルビーイング論<br>小柴・増田                       | アカデミックリテラシー<br>中山                 |
| 2 |                                | 人体の構造と機能<br>福田    | こころとからだのウェルビーイング探究Ⅱ<br>鍵谷・矢島・中山・川村・小柴・鈴木・矢澤<br>小岩・鈴木（は）・吉田（浩） | ウェルビーイング演習<br>小柴・川村                      | デジタル・フェノタイプ心身機能観察基礎演習<br>矢島・鍵谷・小岩 |
| 3 | データサイエンスのための基礎数学Ⅰ（解析・幾何）<br>川村 |                   | ヒューマンⅡ<br>鍵谷・矢島・中山・鈴木・矢澤・増田<br>小岩・鈴木（は）・吉田（浩）                 | 心身健康科学Ⅱ<br>鍵谷・矢島・鈴木・川村・小柴<br>吉田（浩）・佐藤（慎） | 感情・行動パターンの心理学<br>オンライン<br>島田      |
| 4 | 統計学<br>矢澤                      | 国際研修<br>401<br>鍵谷 |   |  | ボランティア活動<br>401<br>鍵谷             |
| 5 |                                |                   |   |  | 人間環境論<br>小柴                       |

【心身健康科学科（通学課程）】 2年生（402 教室）

|   | 月                                 | 火   | 水   | 木   | 金                                    |
|---|-----------------------------------|---|---|---|--------------------------------------|
| 1 | ストレス科学<br>矢島・鍵谷・鈴木（康）<br>小岩・鈴木（は） | 科学英語<br>北原  |   | 栄養学<br>矢島                                       | データサイエンスのための基礎数学Ⅱ（情報数学）<br>402<br>川村 |
| 2 | こころの科学と検査-応用<br>鈴木（康）・矢澤          | こころとからだのウェルビーイング探究Ⅳ<br>鍵谷・矢島・中山・川村・小柴・鈴木・矢澤<br>小岩・鈴木（は）・吉田（浩） | マーケティング論<br>植村                                | ウェルビーイングと社会システム<br>中山・飯塚                        | ウェルビーイング地域支援演習Ⅰ<br>小柴                |
| 3 | 人間関係論<br>鈴木（康）                    | AI・データ倫理と社会<br>川村・増田・小柴                                       | ウェルビーイング実践Ⅱ<br>401/402/UHASウェルビーイングスタジオ<br>枝光 | ウェルビーイングのための統計演習Ⅱ<br>403/UHASウェルビーイングスタジオ<br>本間 | 感情・行動パターンの心理学<br>オンライン<br>島田         |
| 4 | システム思考とデータサイエンス-基礎<br>小柴          | 国際研修<br>401<br>鍵谷   |   | AI活用入門<br>増田                                    | ボランティア活動<br>401<br>鍵谷                |
| 5 | コミュニケーション入門<br>矢澤                 |   |   | ポジティブコンピューティングⅠ<br>小柴・増田                        | ヘルスデータインターンシップ<br>小柴                 |
|   |                                   |   |   |   | プログラミング応用<br>川村                      |

【心身健康科学科（通学課程）】 3年生（403 教室）

|   | 月  | 火   | 水   | 木   | 金                                    |
|---|--|---|---|---|--------------------------------------|
| 1 | 感性評価論<br>小柴  |   | 臨床医学概論<br>福田                                  | 心身相関の科学<br>鍵谷<br>小岩・鈴木（は）                       | データサイエンスのための基礎数学Ⅱ（情報数学）<br>402<br>川村 |
| 2 | 比較文化論<br>中山  | サイエンティフィックライティング<br>松居  | 社会福祉論<br>佐藤                                   | AI・データサイエンスと社会<br>増田                            | ウェルビーイングツーリズム<br>403<br>鍵谷・矢島・中村     |
| 3 | ウェルビーイング地域支援演習Ⅱ<br>小柴  | ライフスタイルと健康科学<br>福田  | ウェルビーイング実践Ⅱ<br>401/402/UHASウェルビーイングスタジオ<br>枝光 | ウェルビーイングのための統計演習Ⅱ<br>403/UHASウェルビーイングスタジオ<br>本間 | 感情・行動パターンの心理学<br>オンライン<br>島田         |
| 4 |  | 国際研修<br>401<br>鍵谷   | ビッグデータ解析-発展<br>本間                             | こころの科学と実験-集団<br>矢澤・鈴木（康）                        | ボランティア活動<br>401<br>鍵谷                |
| 5 | こころとからだのウェルビーイングプロジェクト<br>鍵谷・矢島・中山・川村・小柴・鈴木・矢澤<br>小岩・鈴木（は）・吉田（浩） | こころとからだのウェルビーイング探究Ⅵ<br>鍵谷・矢島・中山・川村・小柴・鈴木・矢澤<br>小岩・鈴木（は）・吉田（浩） |   | 社会調査実践Ⅱ<br>吉田（浩）                                | 感情・行動パターンの心理学<br>オンライン<br>島田         |
|   |  |   |   | ストレスマネジメント演習<br>矢島・鍵谷・矢澤・鈴木（康）・小岩               | ボランティア活動<br>401<br>鍵谷                |
|   |  |   |   |   | プログラミング応用<br>川村                      |

【心身健康科学科（通学課程）】 4年生（404 教室）

|   | 月 | 火                 | 水   | 木   | 金                                    |
|---|---|-------------------|---|---|--------------------------------------|
| 1 |   |                   |   |   | データサイエンスのための基礎数学Ⅱ（情報数学）<br>402<br>川村 |
| 2 |   |                   |   |   | ウェルビーイングツーリズム<br>403<br>鍵谷・矢島・中村     |
| 3 |   |                   | ウェルビーイング実践Ⅱ<br>401/402/UHASウェルビーイングスタジオ<br>枝光           | ウェルビーイングのための統計演習Ⅱ<br>403/UHASウェルビーイングスタジオ<br>本間 | 感情・行動パターンの心理学<br>オンライン<br>島田         |
| 4 |   | 国際研修<br>401<br>鍵谷 | 人間総合科学の探求Ⅱ<br>鍵谷・矢島・中山・川村・小柴・鈴木・矢澤・増田<br>小岩・鈴木（は）・吉田（浩） |   | ボランティア活動<br>401<br>鍵谷                |
| 5 |   |                   | 人間総合科学の探求Ⅱ<br>鍵谷・矢島・中山・川村・小柴・鈴木・矢澤・増田<br>小岩・鈴木（は）・吉田（浩） |   | プログラミング応用<br>川村                      |

【メディア授業】 後期

・発達心理学 ・公衆衛生学 ・高齢者健康科学論 ・自律神経生理学 ・予防栄養学  
・文明の成り立ち ・社会学概論 ・人間文化論 ・高齢者福祉論

・・・オムニバス科目

[内国]

| No. | タイトル  |
|-----|---|
| 1   | 文学  |
| 2   | 國文學 解釈と教材の研究                                |
| 3   | 國語と國文学                                      |
| 4   | 比較文明  |
| 5   | 理想  |
| 6   | 世界  |
| 7   | 思想  |
| 8   | 月刊言語  |
| 9   | 月刊しにか                                       |
| 10  | アジア経済                                       |
| 11  | コンピュータソフトウェア                                |
| 12  | 保健の科学                                       |
| 13  | 科学  |
| 14  | 発達  |
| 15  | 公衆衛生  |
| 16  | 臨床精神医学                                      |
| 17  | 生体の科学                                       |
| 18  | 月刊細胞  |
| 19  | 大学と学生                                       |
| 20  | 栄養学レビュー                                     |
| 21  | 栄養学雑誌                                       |
| 22  | 外交フォーラム                                     |
| 23  | 週刊医学のあゆみ                                    |
| 24  | JAMA《日本語版》                                  |
| 25  | 実験医学  |
| 26  | 人体科学  |
| 27  | 感染・炎症・免疫                                    |
| 28  | 金融  |
| 29  | 金融経済統計月報                                    |
| 30  | こころの科学                                      |
| 31  | 国文学解釈と鑑賞                                    |
| 32  | 國語國文  |
| 33  | 日本銀行調査季報                                    |
| 34  | 日経サイエンス                                     |
| 35  | 脳の科学  |
| 36  | 臨床心理学                                       |
| 37  | 青年心理学研究                                     |
| 38  | 精神療法  |
| 39  | 季刊セクシュアリティ Sexuality                        |
| 40  | 心理学研究                                       |
| 41  | 社会教育  |
| 42  | 蛋白質核酸酵素                                     |
| 43  | Zoological science                          |
| 44  | Journal of Financial Planning               |
| 45  | 人間総合科学 = Human arts and sciences 人間総合科学大学紀要 |
| 46  | カウンセリング研究                                   |
| 47  | 正論  |
| 48  | 視聴覚教育                                       |
| 49  | 証券業報  |
| 50  | アジア遊学 Intriguing ASIA                       |
| 51  | 子どもの虐待とネグレクト                                |
| 52  | 厚生指標  |
| 53  | 教育心理学研究                                     |
| 54  | 月刊ナーシング (Nursing)                           |

| No. | タイトル  |
|-----|---|
| 55  | 精神分析研究 The japanese journal of psycho-analysis                              |
| 56  | 心理臨床学研究   |
| 57  | Expert Nurse (エキスパート ナース)   |
| 58  | Food style 21 (フードスタイル21)   |
| 59  | Nutrition Care ニュートリションケア   |
| 60  | Training journal (月刊トレーニング・ジャーナル)   |
| 61  | からだの科学  |
| 62  | コーチング・クリニック   |
| 63  | ストレス科学  |
| 64  | ヒトと動物の関係学会誌   |
| 65  | ビタミン  |
| 66  | ヘルスケア・レストラン   |
| 67  | 中等教育資料  |
| 68  | 体育の科学   |
| 69  | 保健室   |
| 70  | 健康教室  |
| 71  | 初等教育資料  |
| 72  | 学校給食  |
| 73  | 宗教研究  |
| 74  | 心とからだのオアシス  |
| 75  | 心身医学  |
| 76  | 教職研修  |
| 77  | 別冊教職研修  |
| 78  | 教育  |
| 79  | 教育と医学   |
| 80  | 文化人類学   |
| 81  | 日本公衆衛生雑誌  |
| 82  | 日本家政学会誌   |
| 83  | 日本栄養・食糧学会誌  |
| 84  | 日本臨床栄養学会雑誌 Journal of Japanese Society of Clinical Nutrition                |
| 85  | 日本調理科学会誌  |
| 86  | Sportsmedicine 月刊スポーツメディスン Media of communication for sportsmedicine people |
| 87  | 食育フォーラム   |
| 88  | 栄養 評価と治療 Japanese journal of nutritional assessment. CL:栄養-評価と治療            |
| 89  | 栄養と料理   |
| 90  | 栄養日本  |
| 91  | 特別支援教育  |
| 92  | 発達心理学研究   |
| 93  | 看護研究  |
| 94  | 精神科看護   |
| 95  | 緩和ケア  |
| 96  | 老年社会科学  |
| 97  | 肥満と糖尿病 Q&Aでわかる  |
| 98  | 臨床スポーツ医学  |
| 99  | 臨床栄養  |
| 100 | 診断と治療   |
| 101 | 食と健康  |
| 102 | 食べもの文化  |
| 103 | 食品衛生学雑誌   |
| 104 | 食品衛生研究  |
| 105 | 食生活   |
| 106 | 食農教育  |
| 107 | Aroma research (アロマ リサーチ) journal of aroma science and technology.          |
| 108 | 生きがい研究 Healthy & Active Aging   |
| 109 | 栄養教諭  |
| 110 | 切抜き速報. 食と生活版  |
| 111 | 健康心理学研究   |
| 112 | 産業精神保健  |

| No. | タイトル  |
|-----|---|
| 113 | 日本看護科学会誌  |
| 114 | 体力科学 Japanese journal of physical fitness and sports medicine. VT:Japanese journal of physical fitness. VT:Japanese journal of physical fitness and sports medicine |
| 115 | Functional food (ファンクショナルフード)   |
| 116 | 医と食   |
| 117 | インターナショナルナーシングレビュー日本版 国際看護師協会機関誌INR   |
| 118 | 学校保健研究  |
| 119 | 子どもと発育発達(合冊 発育発達研究)   |
| 120 | HAS Human Art and Sciences  |
| 121 | 心身健康科学 Journal of Health Sciences of Mind and Body  |
| 122 | 全栄施協月報  |
| 123 | ヒューマンニュートリション 栄養管理の症例と実践  |
| 124 | Journal of Japanese Society of Aromatherapy 日本アロマセラピー学会誌  |
| 125 | 日本栄養士会雑誌  |
| 126 | こどもの栄養  |
| 127 | 心理臨床の広場   |
| 128 | BRAIN   |
| 129 | 応用老年学 Applied Gerontology   |
| 130 | 健   |
| 131 | のらのら  |
| 132 | ヘルシスト   |
| 133 | 看護教育  |
| 134 | 看護展望  |
| 135 | きょうの健康  |
| 136 | 暮らしと健康  |
| 137 | 月刊福祉  |
| 138 | 交流分析研究  |
| 139 | ヒューマンサイエンス  |
| 140 | うかたま  |

[外国]

| No. | タイトル  |
|-----|---|
| 1   | Foreign Affairs   |
| 2   | Journal of Personality and Social Psychology                  |
| 3   | World politics A Quarterly Journal of International Relations |
| 4   | The Lancet  |
| 5   | Nature  |
| 6   | Science   |
| 7   | The New England Journal of Medicine                           |
| 8   | American Anthropologist                                       |
| 9   | The American Journal of Pathology                             |
| 10  | American Journal of Public Health                             |
| 11  | American Journal of Sociology AJS                             |
| 12  | Behavioral Neuroscience                                       |
| 13  | British Journal of Educational Psychology                     |
| 14  | British Journal of Educational Technology BJET                |
| 15  | Cultural studies  |
| 16  | Current Anthropology  |
| 17  | Distance Education DE   |
| 18  | Economic Development and Cultural Change                      |
| 19  | The Economist   |
| 20  | Human Relations   |
| 21  | JAMA Journal of the American Medical Association              |
| 22  | Journal of the American Geriatrics Society                    |
| 23  | Journal of Applied Psychology                                 |
| 24  | Journal of Counseling Psychology                              |
| 25  | Journal of Distance Education Revue de l'education a distance |

| No. | タイトル   |
|-----|--|
| 26  | Journal of Virology  |
| 27  | Language & Communication an interdisciplinary journal  |
| 28  | Open Learning The Journal of Open and Distance Learning  |
| 29  | Regional Studies   |
| 30  | Scientific American  |
| 31  | Trends in Neurosciences  |
| 32  | Work and Stress An international, multidisciplinary quarterly of stress, health, and   |
| 33  | The American Journal of Distance Education   |
| 34  | American Journal of Education  |
| 35  | Cultural Anthropology JOURNAL OF THE SOCIETY FOR CULTURAL ANTHROPOLOGY   |
| 36  | Endocrine Journal continuation of endocrinologia japonica  |
| 37  | The Gerontologist  |
| 38  | The Journals of Gerontology . Series B Psychological sciences and social sciences  |
| 39  | The Journal of Molecular Diagnostics   |
| 40  | Pathology International  |
| 41  | Transactional analysis journal   |
| 42  | Behavioral and cognitive neuroscience reviews VT:Behavioral & cognitive neuroscience   |
| 43  | Clinical Neuroscience Research   |
| 44  | Brain research. Cognitive brain research CV:Cognitive brain research   |
| 45  | Adult education quarterly  |
| 46  | Aging & mental health AB:Aging ment. health (Print). KT:Aging & mental health (Print).<br>VT:Aging and mental health                                   |
| 47  | American Journal of Physiology–Regulatory, Integrative and comparative Physiology  |
| 48  | American journal of epidemiology AB:Am. j. epidemiol. KT:American journal of epidemiology  |
| 49  | JAMA Psychiatry  |
| 50  | JAMA Internal Medicine   |
| 51  | Attachment & Human Development   |
| 52  | The Behavioral and brain sciences AB:Behav. brain sci. KT:Behavioral and brain sciences  |
| 53  | Behaviour Research and Therapy   |
| 54  | Brain and Cognition  |
| 55  | Brain research. Brain research reviews   |
| 56  | Brain, Behavior, and Immunity  |
| 57  | British Journal for the History of Philosophy  |
| 58  | British Journal of Clinical Psychology   |
| 59  | Child Development  |
| 60  | Child abuse review   |
| 61  | Child development perspectives AB:Child. dev. perspect   |
| 62  | Cognition & Emotion  |
| 63  | Cognitive Behaviour Therapy  |
| 64  | Cognitive Neuropsychiatry  |
| 65  | Cognitive Neuropsychology  |
| 66  | Cognitive Science  |
| 67  | Cognitive, affective, & behavioral neuroscience VT:Cognitive, affective, and behavioral<br>neuroscience. CL:A journal of the Psychonomic Society , Inc |
| 68  | Cross-Cultural Research  |
| 69  | Development and psychopathology AB:Dev. psychopathol. KT:Development and   |
| 70  | Developmental review   |
| 71  | Diabetes journal of the American Diabetes Association  |
| 72  | European journal of clinical nutrition   |
| 73  | Infant Mental Health Journal   |
| 74  | Intelligence   |
| 75  | International journal of cultural studies  |
| 76  | Journal of integrative neuroscience an interdisciplinary journal. VT:Integrative neuroscience  |
| 77  | Journal of medical ethics  |
| 78  | Journal of nervous and mental disease  |
| 79  | Journal of nutrition   |
| 80  | Journal of nutritional science and vitaminology  |
| 81  | Journal of psychophysiology an international journal   |

| No. | タイトル   |
|-----|--|
| 82  | Journal of psychosomatic research  |
| 83  | Developmental psychology   |
| 84  | Journal of sleep research  |
| 85  | Medical humanities Edition of the Journal of Medical Ethics  |
| 86  | Microcirculation   |
| 87  | Monographs of the Society for Research in Child Development AB:Monogr. Soc. Res. Child Dev. KT:Monographs of the Society for Research in Child Development. VT:Monographs of |
| 88  | Nature neuroscience  |
| 89  | Nature reviews neuroscience  |
| 90  | Neuroimmunomodulation VT:Neuro immuno modulation   |
| 91  | Psychology health & medicine   |
| 92  | Psychophysiology   |
| 93  | Psychosomatics   |
| 94  | Psychotherapy  |
| 95  | Stress the international journal on the biology of stress  |
| 96  | The American journal of clinical nutrition AB:Am. j. clin. nutr. KT:American journal of clinical nutrition   |
| 97  | British journal of nutrition AB:Br. j. nutr  |
| 98  | Journal of cognitive Psychology The European journal od cognitive psychology(※Vol23(2011)より誌名変更)   |
| 99  | The Journal of Applied Behavioral Science  |
| 100 | The Journals of Gerontology . Series A Biological sciences and medical sciences  |
| 101 | The journal of clinical investigation AB:J. clin. invest. KT:The Journal of clinical investigation. OH:JCI   |
| 102 | Journal of the Academy of Nutrition and Dietetics  |
| 103 | American Psychologist  |
| 104 | Eating behaviors   |
| 105 | Nutrition reviews  |
| 106 | Topics in Cognitive Science  |
| 107 | Health Psychology  |
| 108 | Journal of psychiatric research  |
| 109 | Neuroscience Research  |

[内国]

| No. | タイトル            |
|-----|-----------------|
| 1   | 日経エレクトロニクス      |
| 2   | Interface       |
| 3   | SOFTWARE DESIGN |
| 4   | 情報の科学と技術        |
| 5   | 日経NETWORK       |
| 6   | 日経コンピュータ        |
| 7   | 日経ソフトウェア        |
| 8   | 日経パソコン          |
| 9   | コンピュータソフトウェア    |
| 10  | Health Sciences |
| 11  | 日本ウーマンズヘルス学会誌   |
| 12  | 心とからだの健康        |
| 13  | トラウマティック・ストレス   |
| 14  | 学校メンタルヘルス       |
| 15  | 基礎心理学研究         |
| 16  | 社会心理学研究         |
| 17  | 心理学ワールド         |
| 18  | 心理学研究           |
| 19  | 心理学評論           |
| 20  | 日本保健福祉学会誌       |

[外国]

| No. | タイトル   |
|-----|--|
| 1   | Annals of Probability  |
| 2   | Annals of Statistics   |
| 3   | Statistical Science  |
| 4   | Journal of Financial & Quantitative Analysis   |
| 5   | Review of Economics & Statistics   |
| 6   | SIAM Journal on Computing  |
| 7   | MIT Technology Review : Japanese Edition   |
| 8   | Annual Review of Psychology  |
| 9   | Journal of Social Policy (JSP) + Social Policy and Society (SPS) <Social Policy Association Package> |
| 10  | Social Service Review  |

## 人間総合科学大学 教学組織規程

制 定 日：平成12年 4月 1日

最新改定日：令和 3年 3月26日 (理事会)

## 第1章 総則

## (目的)

第1条 この規程は、人間総合科学大学（以下「本大学」という。）における教学組織及び職制等について定め、教学の適正かつ効率的な運営を図ることを目的とする。

## 第2章 組織

## (組織)

第2条 本大学に学校法人早稲田医療学園（以下「本学園」という。） 寄附行為 第4条第1項に定める次の組織を置く。

大学院 人間総合科学研究科 通信教育課程  
 大学院 人間総合科学研究科  
 人間科学部 心身健康科学科 通信教育課程  
 健康栄養学科  
 ヘルスフードサイエンス学科  
 保健医療学部 看護学科  
 リハビリテーション学科

## 第3章 職制

## (職制)

第3条 本大学に、次に掲げる職制を置く。

学長  
 副学長（置くことができる。）  
 研究科長  
 学部長  
 学科長  
 専攻長（研究科における専攻）  
 専攻主任（学部の学科における専攻）  
 学生部長  
 図書館長  
 分館長

## (職務)

第4条 学長は、本大学の全般に関して最終決定権を有し、校務をつかさどり所属教職員を統督する。

- 2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。
- 3 研究科長は、学長を補佐し当該研究科に関する業務を遂行する。
- 4 学部長は、学長を補佐し、当該学部に関する業務を遂行する。
- 6 専攻長は、学長及び研究科長を補佐し、当該専攻に関する業務を遂行する。
- 7 専攻主任は、学部長及び学科長を補佐し、当該学科に関する業務を遂行する。
- 8 学生部長は、学長を補佐し、学生の厚生補導に関する業務を遂行する。
- 9 図書館長は、学長を補佐し、図書館の事務に関する業務を遂行する。
- 10 分館長は、学長及び図書館長を補佐し、当該分館に関する業務を遂行する。

(任命)

- 第5条** 第3条に定める職制は、次の各号の定めるところによる手続きを経て、理事長が任命する。
- 2 学長は、人間総合科学大学学長選考規程に基づき選考を行い、理事会及び評議員会に報告する。
  - 3 副学長、研究科長及び学部長は、人間総合科学大学部局長選考規程に基づき選考を行い、学内理事会の議を経る。
  - 4 専攻長、学科長及び専攻主任は、人間総合科学大学学科長等選考規程に基づき選考を行い、学内理事会の議を経る。
  - 5 学生部長、図書館長及び分館長は、本学専任教員のうちから理事長、学長及び副学長が協議の上、選考を行い、理事長が任命する。

(任期)

- 第6条** 学長の任期は、4年とする。
- 2 前項に規定する以外の職制の任期は2年とする。
  - 3 第2項に規定する職制の任期の起算は、4月1日とし、任期の途中で任命されたものは、前任者の残任期間とする。
  - 4 任期を満了した者の再任は、妨げない。

(補佐職)

- 第7条** 本規程第3条の各職制のほか、理事長が必要と認めた場合、「大学のガバナンス機能の強化」「教育理念に基づく教育活動の組織的・継続的な運用」「教育方針(3つのポリシー等)の体系的な実現」などを目的に、その任を行うに適した者を補佐職として置くことができる。
- 2 補佐職は教学組織規程第8条の身分に関わらず、理事長が指名し、任期を決定する。
  - 3 補佐職の職務は、理事長から特に指示された事項の処理に当たる。

## 第4章 身分

(身分)

- 第8条** 本大学に、次に掲げる身分を置く。
- 教授
  - 准教授
  - 専任講師
  - 助教
  - 助手
  - 助手補

(任用、昇任及び降格)

- 第9条** 前条に定める身分の者の任用、昇任及び降格に関する規程は、別に定める。

(職務)

- 第10条** 教授、准教授、専任講師及び助教は、学生を教授訓育し、その研究を指導し、かつ研究に従事するとともに広報、学生募集活動を行い社会に貢献する。
- 2 助手及び助手補は事務局の主管とする。

## 第5章 会議

(教授会)

- 第11条** 本大学に、教授会を置く。
- 2 教授会に関する規程は別に定める。

(教員選考委員会)

- 第12条** 本学園に人間総合科学大学教員選考委員会を置く。
- 2 教員選考委員会に関する規程は、別に定める。

(各種委員会等)

第13条 本大学に必要な応じ、常時または臨時に代議員会や委員会等を置くことができる。

## 第6章 改廃

(規程の改廃)

第14条 この規程の改廃は、理事会が決定する。

---

附則

この規程は、平成12年 4月 1日から施行する。

附則

1 この規程は、平成15年 7月20日から施行する。

附則

1 この規程は、平成16年 4月 1日から施行する。

附則

1 この規程は、平成19年 4月 1日から施行する。

附則

1 この規程は、平成20年 4月 1日から施行する。

附則

1 この規程は、平成21年 3月16日から施行する。

附則

1 この規程は、平成22年 3月24日から施行する。

附則

1 この規程は、平成22年12月22日から施行する。

附則

1 この規程は、平成23年 4月 1日から施行する。

附則

1 この規程は、平成27年 4月 1日から施行する。

附則

1 この規程は、平成29年 4月 1日から施行する。

附則

1 この規程は、平成29年 9月 1日から施行する。

附則

1 この規程は、令和3年 4月 1日から施行する。

## 人間総合科学大学 代議員会規程

制 定 日：平成21年 3月16日 (理事会)

最新改定日：平成27年 3月25日 (理事会)

---

**(趣旨)**

**第1条** この規程は、学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第66条の2、人間総合科学大学（以下「本大学」という。）人間科学部教授会規程第9条、保健医療学部教授会規程第9条及び本大学教学組織規程第13条に基づいて置かれる代議員会について必要な事項を定める。

**(代議員会の構成)**

**第2条** 代議員会は次の委員をもって構成し、議長は学部長があたる。

- (1) 学部長
- (2) 検討事項に係る学科の学科長
- (3) 事務局長又はこれに代わる者
- (4) 必要に応じて学長が指名し、理事長が委嘱する教職員若干名

2 第5条第1項に定める各事項を検討するときは、当該関係委員会の委員長を加えるものとする。

**(任期)**

**第3条** 委員の任期は、本大学委員会規程第3条第2項から第4項までを準用する。

**(会議)**

**第4条** 代議員会は、議長が招集する。

- 2 代議員会は、委員の過半数の出席がなければ、議事を開き、協議することができない。
- 3 代議員会の議決は、出席委員の過半数の同意によって成立する。
- 4 委員長に事故あるときは、あらかじめ議長の指名する委員が会議の議長を務める。
- 5 代議員会は、必要に応じて持ち回りによって協議を行うことができる。

**(検討事項等)**

**第5条** 代議員会は、次の事項を検討することができる。

- (1) 人間総合科学大学人間科学部教授会規程第6条及び保健医療学部教授会規程第6条に掲げる事項
  - (2) 学生の身分に関する事項
  - (3) その他必要と認められる事項
- 2 検討結果等については、教授会に報告しなければならない。
  - 3 検討事項の運用については、前項の報告をもとに、原則として学長の指示に従うものとする。

**(改廃)**

**第6条** この規程の改廃については、教授会の議を経て、理事長が決定する。

---

**附則**

1 この規程は、平成21年 3月16日から施行する。

**附則**

1 この規程は、平成22年 3月24日から施行する。

**附則**

1 この規程は、平成23年 4月 1日から施行する。

**附則**

1 この規程は、平成27年 4月 1日から施行する。

人間総合科学大学 人間科学部 教務委員会規程

制 定 日：平成12年 4月 1日

最新改定日：平成27年 3月25日（理事長）

---

（趣旨）

第1条 人間科学部の教務に関わる事項を立案検討するために、教務委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（委員会の構成）

第2条 委員会は次の委員をもって構成し、委員長は学部長があたる。

- （1）学部長
- （2）学長が指名し、理事長が委嘱する教員若干名
- （3）事務局長
- （4）学長が指名し、理事長が委嘱する大学事務局及び法人事務局の職員若干名

（任期）

第3条 委員の任期は、人間総合科学大学 委員会規程第3条第2項乃至第4項による。

（委員長の職務）

第4条 委員長は、委員会を代表し、検討事項を統括する。

（会議）

第5条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、議長を務める。

- 2 会議は、委員の過半数の出席がなければ、議事を開き、協議することができない。
- 3 会議の議決は、出席委員の過半数の同意によって成立する。
- 4 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員が会議の議長を務める。
- 5 委員会は、必要に応じて持ち回りによって協議を行うことができる。

（意見の聴取）

第6条 委員会は、必要に応じ委員以外の者に会議への出席を求め、その意見を聞くことができる。

（検討事項）

第7条 委員会は、次の事項を立案検討する。

- （1）授業に関わる基本事項及び日程に関する事項
  - （2）授業の運営に関する事項
  - （3）授業科目の新設、廃止、名称変更、単位変更、授業方法の変更等に関する事項
  - （4）授業科目（卒業研究を除く）の評価及び判定等に関する事項
  - （5）学生の進級、休学、退学（懲戒を除く）、復学、除籍、転学、留学に関する事項
  - （6）その他教務・ICT活用等教育手法に関する重要な事項
- 2 委員長は、会議の検討結果について、理事長及び学長に報告する。

（学科教務委員会）

第8条 各学科に教務委員会を置くことができる。

（事務所管）

第9条 委員会の事務は、学務課が行う。

（改廃）

第10条 この規程の改廃については、理事長が決定する。

---

附則

1 この規程は、平成12年 4月 1日から施行する。

附則

1 この規程は、平成16年 4月 1日から施行する。

**附則**

1 この規程は、平成20年 4月 1日から施行する。

**附則**

1 この規程は、平成27年 4月 1日から施行する。

## 人間総合科学大学 内部質保証の方針

人間総合科学大学は、内部質保証を推進するため、以下のとおり方針を定める。

### 内部質保証を推進する基本的な考え方

- ①本学の教育理念、建学の精神、教育・研究上の目的、教育の方針（三つのポリシーなど）の実現に向けて、学修者本位の教育を実現するという観点から、自らの教育・研究活動をはじめとする大学の諸活動について自己点検・評価を行い、その結果を踏まえて、質の向上に向けた継続的な改善を推進する。
- ②教育研究および大学運営の内部質保証については、学生の学修成果・教員の教育成果に関する情報や学園および大学運営計画の実施状況の把握・可視化を行い、客観的な根拠資料またはデータに基づき、組織的かつ定期的に実施する。
- ③自己点検評価の結果は、規程に従いホームページ等で公開する。

### 内部質保証を実施する組織体制

- ①学長は教学面の内部質保証を統括し、学長を委員長とする大学マネジメント戦略実行会議（以下、戦略実行会議）が主体となり、「人間総合科学大学 大学マネジメント戦略実行会議規程」に則り、インスティテューショナル・リサーチ室（以下、IR室）、自己点検・評価委員会と連携し、内部質保証を推進する。
- ②大学運営の内部質保証の責任者は理事長とし、戦略実行会議は理事長の諮問機関として法人事務局とともにその運営にあたる。
- ③戦略実行会議は、IR室、自己点検・評価委員会と連携し、内部質保証を推進する体制の整備、方針の策定、運用指針を、両学部教授会の審議を踏まえつつ、各教務委員会ほか各委員会及び各部局に指示する。
- ④戦略実行会議は、自己点検・評価委員会とともに、自己点検・評価活動に関する検証及び改善方針を策定し理事長・学長に報告する。

**人間総合科学大学  
内部質保証体制  
(教学マネジメント体制)**

監事

理事長・理事会

評議員会

学長

Action

Plan

法人 経営管理・財務

新規事業

財政基盤強化

施設・設備・インフラ整備

効率化

大学マネジメント戦略実行会議

IR室

自己点検・評価委員会

Check

Do

教授会

大学 教学マネジメント推進・IR推進

自己点検  
内部質保証 評価基準

使命・目的

教学マネジメント（教育課程・教育手法等）

学生確保

学修支援  
学生支援

研究支援

国際化推進、  
地域産学連携

キャリア形成

DXの推進

GPA 推移表  
個人面談表  
成績評価 (GP) 分布

国家試験合格率推移  
入学前教育の成績推移

教務委員会

FD・SD  
推進委員会

学生委員会

就職対策WG

アドミッション  
委員会  
入試委員会

地域・産学  
連携  
センター

下記分析結果を指標  
【学部】 新入生アンケート ・ 授業アンケート ・ 卒業生アンケート ・ 学生生活 / 学修行動 ・ 成果実態調査 ・ 就職率推移 ・ 既卒生アンケート ・ 企業アンケート  
・ 入試制度 ・ 入試方法分析 ・ 在学生分析 ・ 学生インタビュー  
【大学院】 コースワークアンケート、リサーチワークアンケート、健康情報マネジメント養成プログラムアンケート

・ 情報公開

## JIHEE（大学機関別認証評価）/自己点検評価書

- [JIHEE](#)
- 自己点検評価書
  - [平成24年度版](#)
  - [平成31年度版](#)

## 公益財団法人日本高等教育評価機構による 2022年度大学機関別認証評価について

大学は、その教育研究水準の向上に資するため、教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の総合的な状況について、政令で定める期間（7年以内）ごとに、文部科学大臣の認証を受けた「認証評価機関」による評価を受けることを学校教育法により義務付けられています。

人間総合科学大学は、文部科学大臣の認証を受けた『公益財団法人日本高等教育評価機構』により、2022年度大学機関別認証評価を受審し、2023年3月14日、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしていることを「認定」されました。



### 人間総合科学大学 自己点検評価書

- [令和4年度 自己点検評価書](#)
- [平成27年度 自己点検評価書](#)
- [平成20年度 自己評価報告書](#)

### 評価結果について

評価結果は、[公益財団法人日本高等教育評価機構のホームページ](#)に公表されています。

## II 博士学位審査手続きに関する規程

(目的)

第1条 人間総合科学大学学位規程（以下「学位規程」という。）第4条の2に基づき、人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科 博士後期課程の博士学位の審査手続きについて、必要な事項を定める。

(博士学位申請資格)

第2条 博士の学位を申請しようとする者(以下、「申請者」という)は、次の要件を満たさなければならない。

- (1) 人間総合科学大学大学院学則（以下、「学則」という）第9条第2項に定める修業年限以上在学し、所定の単位を修得済または当該年度内に修得見込で、所定の研究指導を受けている者。
- (2) 学則第9条第2項に定める修業年限以上在学し、所定の単位を修得し、所定の研究指導を受けたのち退学した者で、退学からの期間が別に定める期間内の者。
- (3) 主論文の内容について、日本心身健康科学会の学術集会で口頭発表をしていること。

(申請手続き)

第3条 申請者は以下の手続きを行わなければならない。

(1) 提出書類

申請者は、あらかじめ研究指導教員から申請を行うことについて承認を得た後、下記の書類を添えて申請する。

- ①博士学位論文申請書（研究指導教員の署名、捺印されたもの）
- ②主論文1篇
- ③主論文要旨
- ④副論文1篇以上
- ⑤業績目録（誌上発表、口頭発表を含む）
- ⑥履歴書

(2) 提出期間と提出先

提出期間：原則として6月以降、指定された期間内に提出する。

提出先：事務局窓口に提出する。

(3) 提出論文の条件

(1) に示す提出書類のうち、②主論文、④副論文の条件は以下のとおりである。

②主論文

- イ) 心身健康科学に関する原著論文であること。
- ロ) 本大学大学院博士後期課程（以下、「博士後期課程」という）入学後に下記に示す学術誌に投稿されたものであり、申請時点で掲載済み、または掲載が決定していること。
- ハ) 論文で扱う研究データや概念、理論が、原則として博士後期課程入学後に採取、構築、考察されていること。

- ニ) 筆頭著者が申請者であり、原則として共著者に本大学の主となる研究指導教員が含まれていること。
- ホ) 当該論文を博士その他の学位申請に関わる論文として、共著者が使用しないこと。
- へ) 主論文の掲載誌は、次のいずれかに該当する学術誌であり、印刷またはインターネットの利用によって公表されることを必要とする。
  - i) 査読制度のある学術誌（全国規模の学会・研究会等の学会誌、国際学術誌など）
  - ii) 日本心身健康科学会の学会誌
  - iii) その他研究科教授会で認めた学術誌

#### ④副論文

- イ) 副論文とは下記 ロ) に示す学術誌に掲載済みまたは掲載が決定した原著論文、短報、報告または総説等の論文をいう。
- ロ) 副論文の掲載誌の条件は、主論文と同一とする。

#### (博士学位論文の審査)

第4条 博士学位論文の審査は次の通り行う。

##### (1) 審査委員の選出

- ①博士学位申請をうけて、研究指導教員の意向を踏まえつつ研究科教授会の協議により、提出された博士学位論文ごとに審査委員（主査1名、副査3名）を決定する。
- ②審査委員については、その氏名を公表するものとする。
- ③審査委員については、必要に応じて人間総合科学大学外から選出することができる。
- ④審査委員の選出にあたっては、研究指導教員、申請者や研究指導教員の利害関係者、及び申請者の親族を除くこととする。
- ⑤審査委員は、学校法人早稲田医療学園 倫理規程に基づき、公正な審査を行うこととする。

##### (2) 審査委員による論文審査

- ①審査委員は、博士学位論文の論文審査と口頭試問を行う。
- ②審査は、研究科教授会の定める期間に行う。
- ③口頭試問の日時は主査と副査の合議により決定し、主査・副査が一堂に会して行う。
- ④審査委員は論文審査と口頭試問に基づき合否判定を行い、その結果を研究科教授会に報告する。

##### (3) 評価項目と審査基準

評価項目と審査基準に関しては別に定める。

##### (4) 公開発表会

- ①論文審査を合格したものは、公開発表会で主論文について口頭発表を行う。
- ②公開発表会は原則として2月に行う。

#### (修了判定)

第5条 博士後期課程の修了判定は2月に行う研究科教授会において、博士学位論文の合否判定を受け、学則第28条第2項に則って行う。修了判定の結果を研究科長は学長に報告し、申請者に通知する。

#### (学位の授与)

第6条 学長は前条の報告に基づいて、学位を授与すべき者には、所定の学位記を授与し、学位を授与できない者には、その旨を通知する。

(学位論文の公表)

第7条 本大学は、博士の学位を授与したときは、学位を授与した日から3ヶ月以内にその学位論文の内容の要旨と審査結果の要旨をインターネットの利用により公表する。

2 博士の学位を授与された者は、学位を授与された日から1年以内に、学位の授与に係る論文の全文(やむを得ない事由がある場合には、その内容を要約したもの)を本大学の協力を得てインターネットの利用により公表するものとする。ただし、当該学位を授与される前に公表したときは、この限りではない。

3 博士の学位を授与された者は、学位の授与に係る論文の全文別刷を、本大学図書館に納めることとする。

(文部科学大臣への報告)

第8条 本大学は、博士の学位を授与したときには、当該学位を授与した日から3ヶ月以内にこれを文部科学大臣に報告する。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃については、理事会が決定する。

---

附則

1 この内規は、平成19年4月1日から施行する。

附則

1 この内規は、平成22年12月22日から施行する。

2 「人間総合科学大学大学院 博士学位論文審査手続に関する内規」運用指針は、前項の施行日より廃止する。

附則

1 この内規は、平成25年4月1日から施行する。

附則

1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。

2 第2条第3号については、平成26年度以前の入学者は、平成25年4月1日施行内規での申請も可とする。

## **人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科 学位論文審査基準 ガイドライン**

博士後期課程および修士課程の学位論文については、必要な単位をすでに修得済あるいは論文提出学期内に修得予定であることを提出条件とし、その審査にあたっては、下記の評価項目・評価基準とする。

なお、論文審査基準ガイドラインは、人間総合科学大学学位規程第4条および人間総合科学大学大学院博士學位審査手続きに関する規程第4条に基づき、人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科の学位の審査について、必要な事項を定めたものである。

### **【博士後期課程】**

- 1 **学位の種類** 博士（心身健康科学）
- 2 **審査体制** 主査1名，副査3名により，提出論文の審査と口頭試問を行い，その結果を研究科教授会に報告し，教授会にて承認する。
- 3 **評価項目**
  - (1) 研究目的と意義の独創性：研究目的に特色と独創性が認められ，意義と背景が明確に示されている。
  - (2) 研究方法の妥当性：明確で妥当性のある研究方法である。
  - (3) 研究結果の新規性：研究結果や知見に新規性が認められる。
  - (4) 考察と結論の妥当性：論理的で妥当な考察と結論が明快に示されている。
  - (5) 心身健康科学における位置づけ：統合科学である心身健康科学における当該論文の位置づけや意義が明確に示されている。
  - (6) 質疑に対する応答の適切性：口頭試問における質疑で，明確に論理的・学術的に応答できる。
  - (7) 申請者の研究能力：独立した研究者として研究を推進し，後進を育成する能力を有する。
- 4 **評価基準** 学位論文の上記の評価項目で合格基準に達し，口頭試問審査にて合格と判定されること。

### **【修士課程】**

- 1 **学位の種類** 修士（心身健康科学），修士（健康栄養科学）
- 2 **審査体制** 主査1名，副査2名により，提出論文の審査と口頭試問を行い，その結果を研究科教授会に報告し，教授会にて承認する。
- 3 **評価項目**
  - (1) 研究目的と意義の明確性：研究の背景・意義と目的が明確に示されている。

- (2) 研究方法の妥当性：明確で妥当性のある研究方法である。
- (3) 研究結果の正確性と論理性：分かりやすく，正確で論理的に提示されている。
- (4) 考察と結論の妥当性：論理的で妥当な考察と結論が明快に示されている。
- (5) 論旨の一貫性と整合性：先行研究を踏まえた論述で，全体を通して整合性と一貫性が認められる。
- (6) 専攻ごとの学術性：心身相関の探究と心身健康科学の視点（心身健康科学専攻），心身の健康と栄養・食の関わりの探究（健康栄養科学専攻）が明確に示されている。
- (7) 発表と質疑の適格性：口頭発表の能力があり，質疑に適切に応答できる。

**4 評価基準** 学位論文の上記評価項目で合格基準に達し，口頭試問にて合格と判定されること。